

# 2020 年度演習募集

# ゼミ説明資料

※2019 年 10 月に配布した「2020 年度法  
政大学社会学部専門演習(ゼミ)紹介パン  
フレット」も活用してください。

# 目次

ページ	担当教員名
3.	青木 貞茂
4.	荒井 容子
5.	池田 寛二
6.	稲増 龍夫
7.	宇野 斉
8.	大崎 雄二
9.	岡野内 正
10.	堅田 香緒里
11.	加藤 寛之
12.	金原 瑞人
13.	菊澤 佐江子
14.	北浦 康嗣
15.	高 美智
16.	越部 清美
17.	小林 直毅
18.	斎藤 友里子
19.	佐藤 成基
20.	澤柿 教伸
21.	島本 美保子
22.	白田 秀彰
23.	白鳥 浩
24.	慎 蒼宇
25.	鈴木 智道
26.	鈴木 智之

ページ	担当教員名
27.	鈴木 宗徳
28.	関口 浩
29.	武田 俊輔
30.	田嶋 淳子
31.	多田 和美
32.	谷本 有美子
33.	津田 正太郎
34.	土倉 英志
35.	徳安 彰
36.	土橋 臣吾
37.	中筋 直哉
38.	長沼 建一郎 (代講:曾布川 哲也)
39.	橋爪 絢子
40.	濱中 春
41.	樋口 明彦
42.	藤代 裕之 (代講:高瀬 文人)
43.	藤田 真文
44.	ジョナサン ブラウン
45.	別府 三奈子
46.	堀川 三郎
47.	増田 正人
48.	鞠子 茂 (代講:勝又 暢之)
49.	諸上 茂光
50.	吉村 真子 (代講:遠藤 聡)

## 2020年度 演習1 青木貞茂ゼミ説明資料

広告プランニングの方法について理論と実践の両面から学ぶゼミです。  
広告を学ぶことを通じて、皆さん自身のバージョンアップを実現します。

- 課題を解決する効果的な広告をどのように企画立案するのかを体得、その知識・ノウハウ＝＜広告知＞を使いこなすようになることを目標とします。そのために、例年法政大学多摩オープン・キャンパス社会学部独自企画を立案し、実際の運営・実行までを担当します。企画内容については、PLAN—DO—SEEでチェックし、反省点・改善点を明確にし、次年度により効果的な広告プランニングが可能になるように進めます。
- また、地方の魅力をアピールするCM企画を立案し、実際の表現制作を行いません。CM制作の具体的な方法として、博報堂で実際に使用されている方法であるアカウント・プランニングを用います。課題を抽出し、ターゲットを定め、生活者インサイトを探り、具体的なメッセージを開発します。その上で絵コンテに表現案をまとめ、撮影・編集をして完成させます。今年度は、東北PR動画企画「東北LOVE 2019」に応募し、グランプリを受賞しました。  
(<https://www.hosei.ac.jp/shakai/info/article-20200228165554/>)
- 上記の2つの企画は2年、3年合同のグループワークですが、個人作業もあります。自分広告の制作、好きな広告分析の2つのテーマについては、先輩のゼミ生のサポートのもと、個人で制作、分析を行います。
- ゼミ合宿では、夏休み期間中にこれまで東京、京都、金沢、鎌倉、会津若松・喜多方、長泉町、仙台のタウンウォッチングを実施しました。テーマに沿ってフィールドの観察から企画に必要な消費、文化現象(＝有徴記号)を収集し、分析をしました。これらの成果は、企画に反映され、2019年度の東北PR動画企画「東北LOVE 2019」制作に活用されました。
- 4年生では、ゼミ生は全員卒論を執筆します。テーマは、広告、消費文化に関わるものであれば、何でも取り上げることができます。映画、小説、アニメ、ゲーム、ヒット商品など多岐にわたります。
- ＜広告知＞を実践的に身につけたいと考える方は、ぜひ当ゼミに参加してください。将来広告、マーケティング関連の仕事につきたいと考えている人にとって有効なゼミ内容です。ゼミを学生生活の中で最優先にすること、基本的にすべて出席することが前提です。広告を学ぶことへの熱意、情熱の高い人を求めます。

担当教員

荒井容子 (ARAI, Yoko )

テーマ

社会教育(社会教育実践、政策、運動)、成人教育運動

ゼミの内容

私たちは日々さまざまな形で学んでいます。このゼミではその「学び」のあり方、またそれを支える教育活動として展開されている社会教育活動(あるいは成人教育)に関わる理論・思想、政策、社会運動について考えていくことをめざしています。

しかし、実際には、受講生の関心を尊重して運営しています。演習1では、受講生に社会教育または教育に関する一冊の本を紹介しもらうところから学習をはじめ、その後、教育、社会教育の本質について基本文献をもとに考え合います。

その後は各自、自分の研究テーマについて、報告・討議によって深めていきますが、受講生の関心・希望に応じて社会教育に関する見学・調査等を行う場合もあります。

年度のしめくくりとして各自ゼミ論を執筆し、3学年合同で、卒論・ゼミ論集を自分たちで印刷・製本します。そしてこれをもとに卒論・ゼミ論の口頭試問を行います。

合宿や口頭試問には卒業生が参加してくれることもあります。

**ゼミの進め方 注意 2020年度は演習1・2として2年生3年生合同で行います。**

演習1、演習2、演習3それぞれで学習しますが、合同で懇親会や、共通テキストの輪読、卒論・ゼミ論執筆過程の検討などを内容とする合宿も行います。

受講生の意欲に応じてゼミ後に追加の学習会を行うこともあります。現在、演習1、演習2、演習3とも少人数ですが、報告をめぐって議論が白熱すると、板書しながら意見を戦わせ、夢中で議論しています。

ここ数年合宿は秋にキャンパス内の100周年記念館を利用して行っています。バーベキュー・芋煮会も合わせ行っています。学習会はいつも議論が白熱し、討議時間が足りない状況です。卒業生がときどき参加してくれ、去年は報告もしてくれました。

**ゼミ生の卒論等のタイトル** 2018年度

卒論「『子どものあらゆる可能性を伸ばす』教育と道徳—自主性を重んじる教育のあり方—」

3年ゼミ論「メモリアル・ミュージアム、パンフレットを読む—論者たちの理想と現実—」

含ウルグアイ Museo de Memoria パンフレット翻訳

2年ゼミ論「教師の役割葛藤と精神疾患」

「趣味の貴賤」

「食物アレルギーに対する認識のずれと対応策」

「部活動の意義とこれから」

**ゼミへの招待**

このゼミでは、ゼミ論に向けてお互いの研究と執筆を支え合い、学び合いながら、最終的にそれぞれの卒論執筆につなげていきます。そこで、このような過程が、論理的思考の鍛錬になるだけでなく、他者の力も借りて自分の考えを深めていく手法でもあること、また、自分を深く見つめ直す「学び」の過程でもあることを、きっと強く自覚的になるでしょう。是非、いっしょに楽しく学んでいきましょう。

**選考方法と募集人数**

「学ぶということ」や「教育」に関心があり、真剣に、じっくり討議することが好きな人は歓迎します。少人数でゆっくり学び合っています。受講生が一人でも対応しますので安心して応募してください。演習2からでもやる気のある学生は受け入れます。過去には、社会教育主事資格課程の受講をきっかけに、他ゼミの学生が自主参加したことも度々ありました。単位にはなりません、このような未登録の学生の自主参加も歓迎しています。

演習名 ( 池田寛二 )ゼミ

## 1. 課題について

課題( あり・  なし )

### 詳細 ( 内容及び提出期限・提出方法等

対面・口頭での説明会は実施しません。下記の要領で対応してください。

- 1) まず、『2020年度専門演習(ゼミ)紹介パンフレット』20頁の池田ゼミの内容をあらためて熟読してください。
- 2) 次に、『演習1』のシラバスを熟読してください。
- 3) 1)と2)を踏まえて、「一次募集希望登録票」を事務課の指示に従って提出してください。  
(4月1日(水)15時提出締め切り)
- 4) 対面・口頭での選考会は実施しません。
- 5) 4月3日(金)15時までに、2階の演習掲示板で選考結果を掲示しますから、確認してください。
- 6) 演習の開始までの間に、必要に応じて、事務課を通じて演習の実施方法について指示します。

## 2. 選考日時・場所・方法

※演習2・3の新規募集を行うゼミは、演習2・3の選考情報もご記入ください。

日時: 月 日 ( ) : ~

場所:

方法: 「一次募集希望登録票」によって選考します。

## 3. 問い合わせ先

socikeda@hosei.ac.jp

## 4. 備考

演習名 ( 稲増龍夫 )ゼミ

## 1. 課題について

課題( ◎あり ・ なし )

詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

稲増ゼミ特設サイト <https://sites.google.com/view/imamasu-semi2020> を開いて、そこにある「選考」情報を確認してください。

なお、本年度は、社会学部における稲増ゼミ最終年度にあたるので、映像制技法を習得する1ゼミの期間において「ゼミファースト」の覚悟があるのであれば、原則、定員枠を設けずに希望者を全員受け入れます。

## 2. 選考日時・場所・方法

※演習2・3の新規募集を行うゼミは、演習2・3の選考情報もご記入ください。

日時: 4 月 2 日 ( 木 ) 14:30 ~ 18:30

---

場所: 305 教室

---

方法: ガイダンス後、選考課題を出すので、好きな場所で書いて 18:30 までに提出してください。

---

## 3. 問い合わせ先

稲増メアド=[itmax1952@icloud.com](mailto:itmax1952@icloud.com)

---

## 4. 備考

2ゼミ希望者は上記メアドから稲増に連絡ください。個別に課題を指示します。

演習名 (宇野 齊) ゼミ

(説明会内容要約)

### 1. 課題について

1-1 課題はありません。

1-2 演習1希望登録票 (Google フォームでの提出) 内各欄に以下を記入してください。

1-3 上記演習を希望する理由欄

(A、Bを冒頭に付して記入)

A 自己紹介 但し「所属と帰属」を除く内容、1分で話せる程度の長さで。

B 希望理由 自己紹介以外の内容で、自己紹介と同程度の長さで。

1-4 備考欄

四分野希望順位とその理由 (ブログ参照) を記入してください。

### 2. 選考日時・場所・方法

2-1 現時点では4月2日10時-18時の間の予定です。後ほどブログ掲載または個別連絡します。

2-2 場所・方法は後ほどブログ掲載または個別連絡します。

2-3 状況によっては、希望票のみで選考する場合もあります。

### 3. 問い合わせ先

指定ブログ内コメント欄にブログ記事内所定項目を記入して送信してください。

### 4. 備考

随時以下とメールとをチェックしてください。

宇野ゼミぶろく！

<https://ameblo.jp/unozeimi/>

Twitter : 宇野ゼミナール、法政大学社会学部

[@unozeimi](https://twitter.com/unozeimi)

-----

### 宇野ゼミであなたは何をを目指すのか

2020年3月吉日

演習1 説明会

#### 1 宇野ゼミの四分野

SN 社会ネットワーク、OS 組織、DM 意思決定、MK マーケティング  
これらは対象にアプローチする手段  
これらをまず柔軟に学習する

#### 2 宇野ゼミの対象

創造産業 = Creative Industries  
人間を刺激する コンテンツを扱う  
メディアを介して 物と事の結合  
流れの中で 何か新しい事を  
楽しいことに、嬉しいことへ

#### 3 創造産業って

例えば、テレビ ラジオ 新聞 雑誌 インターネット 文字 音声 映像 映画 ビデオ 出版 報道 イラストレーション キャラクター マンガ アニメ ゲーム ファッション 音楽 美術 手芸 骨董品 舞台芸術 興行 建築 祭 縁日 フェア 展示会 ソフトウェア開発 コンピュータ・サービス 創作 批評 編集 修復 広告 観光 流行 など

(何を？なぜ？どのように？データは？)

#### 4 創造産業では、

誰に何がウケる、なぜ？  
何を作って何処をどう流すのか？  
どこがつながっている、どうつながっている？  
なぜそれをそう決める？  
誰と誰とがどうやって実現する？  
もちろん、あなたの創意と工夫と行動で！

#### 5 宇野ゼミでは

それだけじゃなくていい。例えば、手段自体で別分野も。分析対象を見つけられる、  
→ データ分析して研究へ。  
但し、先輩とは違うテーマで。  
「広い視野、深い思考、高い理想、早い行動」、  
「常に発信、相互評価、切磋琢磨」

#### 6 深度と態度

例えば新書版で週3冊 or 単行本で週1冊程度の分量、→広く深く頭に突っ込み思考。→分析、まとめて発表。

6-1★単に好きだから、興味があるから、自分が知らないから調べたらこんなんでした。  
→ ×全くダメ。それで？ データは？

6-2☆とことん調べたけどまだ分かっていないことがあります。だから研究します！ →  
◎いいね！ → ほな卒論までしっかりね！

6-3☆ゼミ最優先でやります！ ←やる気があるは当然

#### 7 2019年度からの追記

こういう方においていただきたい。

(含再論)

7-1 卒論完成まで教員と協働で研究を継続

7-2 コラボレーション/コミュニケーション  
参加：設計コース、他ゼミ、他大学、企業などの外部と

7-3 木曜日はゼミの日：いつでも、テレワークでも

7-4 ゼミ最優先、生活の中心にゼミと研究

7-5 課題図書は重要部分のまとめ作成 (年に数冊程度予定)

7-6 相互に批判：自分の事は棚に上げて、論理的徹底的に

-----

#### 8 希望票への記入、面接への準備

8-1 ゼミパンフレット、シラパス、ブログ、Twitter、専任教員紹介熟読、柔軟対応してください。

8-2 提出書類内容を吟味してください。

a ! E-mail(PC)は大学付与のもの。

b 自己紹介1分間を準備し練習、但し内容では「所属と帰属」を除く。

8-3 (そんな事態は起こらないと思います)が希望者多数の場合面接は15人程度までです。

a 足切方法は「累積GPA×卒業所要単位数合計」によります。

b 面接集合時に成績票写とTOEFLスコア写を確認します (後日になった場合でも偽り発覚時履修許可取消)。

8-4 応募人数が予定人数を下回っている場合でも全員必ず選考に通るとは限りません。

8-5 質問はブログ内所定記事のコメントに記入してください。

(以上)

演習名 ( 大 崎 )ゼミ

1. 課題について

課題 なし

詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

2. 選考日時・場所・方法

※演習2・3の新規募集を行うゼミは、演習2・3の選考情報もご記入ください。

日時: 月 日 ( ) : ~

場所:

方法:

3. 問い合わせ先 osaki@hosei.ac.jp

4. 備考

「演習3」を履修し、卒業論文を書きたい学生は、電子メールで担当教員まで連絡をください。テーマ等についてメールで相談しましょう。

# 演習名 ( 岡野内 )ゼミ

## 1. 課題について

課題( あり ・ なし )

詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

ガイ・スタンディング著『プレカリアート』(法律文化社、2016年)を読んで、グローバリゼーションによるプレカリアートの増大が人類社会全体におよぼす影響について、特に、現在の新型コロナウイルスによるパンデミックの拡大と関連付けて、考えたことを記した小論文を書いてください。長さは8千字程度で大丈夫です。期限は4月5日(日)夜までで、提出方法は、メールで岡野内(otadashi@hosei.ac.jp)まで送ってください。

## 2. 選考日時・場所・方法

※演習2・3の新規募集を行うゼミは、演習2・3の選考情報もご記入ください。

日時: 月 日 ( ) : ~

場所: \_\_\_\_\_

方法: 選考会はやりません。上記の課題を提出してください。演習2、3も同様

です。

## 3. 問い合わせ先

otadashi@hosei.ac.jp

## 4. 備考

今年から学術論文作成の力を身に着けるために、十大学合同セミナー参加をゼミ参加の条件にしています。ただしその開催が流動的になってきたので、状況に応じて毎週の読書ノート提出を義務付けるサブゼミ参加を必修にします。たいへんなゼミになりますが、やりがいのあるゼミにしたいと思っています。

演習名 ( 堅田香緒里 )ゼミ

## 1. 課題について

課題( あり ・ なし )

### 詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

内容:以下の①②について、自由に書いてください(それぞれ A4 一枚程度)

- ① 堅田ゼミに入って研究してみたいこと(できれば、これまでに読んだ本や経験等を基に)
- ② 自分の長所／短所

提出期限:4月2日10:00

提出方法:kaorikatada@hosei.ac.jp 宛にメール添付で提出

(その際、メールの件名は「ゼミ選考課題の提出／氏名」としてください)

## 2. 選考日時・場所・方法

※演習2・3の新規募集を行うゼミは、演習2・3の選考情報もご記入ください。

日時: \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( ) \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ~

場所: \_\_\_\_\_

方法:上記の課題を基に選考します。(面接は実施しません) ※演習2も同様

## 3. 問い合わせ先

質問等ありましたら、堅田([kaorikatada@hosei.ac.jp](mailto:kaorikatada@hosei.ac.jp))まで。

## 4. 備考

ゼミの内容については、配布済みのゼミパンフレットを参照してください。

# 演習名 ( 加藤寛之 )ゼミ

## 1. 課題について

課題( あり )

詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

- ① 次の YouTube の 2 つのホリエモン動画を視聴して、ポイントを抽出し 1,000 字以内で要約せよ。  
新型コロナウイルスについて専門家に質問しました(前編)

<https://www.youtube.com/watch?v=xDBtQCQ6fWk>

- 新型コロナウイルスについて専門家に質問しました(後編)

<https://www.youtube.com/watch?v=qICAP83rDck>

- ② 勉強、食事、情報収集、外出、アルバイト、娯楽、サークルなど、3 月の間どのように過ごしていたか、どのような点で困っているか、貴方自身の生活状況を 1,500 字以内で説明せよ。現在の学生の置かれているリアルな状況を教えてください。ですます調でかまいません。

- ③ 小学受験、中学受験、高校受験、大学受験の経験について、合計 2,000 字以内で詳細に説明せよ。準備期間、対策、選択科目(選択した理由)、通った塾、予備校等、どのような経緯を経て本学に進学してくるのを知りたいのです。ですます調でかまいません。

締切: 4 月 1 日 21 時 提出先: [hirokatohirokato@gmail.com](mailto:hirokatohirokato@gmail.com) 学科・クラス・学籍番号・氏名明記のこと。  
なお、個人面接は 4 月 2 日に Skype で遠隔で行うので、Skype 名も取得し明記のこと。

## 2. 選考日時・場所・方法

※演習 2・3 の新規募集を行うゼミは、演習 2・3 の選考情報もご記入ください。

日時: 4 月 2 日 (木) 9:00~ 各自の時間は課題への返信に記します。

場所: 1 人ずつ Skype にて遠隔で行います。Skype 名 hirokatohirokato  
各自 Skype 名を取得し、課題提出の際に明記しておくこと。

方法: 1 人ずつ Skype にて遠隔で行います。Skype 名 hirokatohirokato  
各自 Skype 名を取得し、課題提出の際に明記しておくこと。

演習 3 について、若干名募集します。上記課題と卒論企画書(A4 で1枚)をメールにて提出のこと。なお、Skype で面接を行います。

## 3. 問い合わせ先

Email: [hirokatohirokato@gmail.com](mailto:hirokatohirokato@gmail.com)

## 4. 備考

Twitter: nana\_no\_papa

ゼミの詳細については、2019 年 10 月に配布済みの「2020 年度法政大学社会学部専門演習(ゼミ)紹介パンフレット」を確認してください。

演習名 ( 金原 瑞人 )ゼミ

※演習2・演習3の新規募集のみです。

### 1. 課題について

課題( あり・なし )

詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

### 2. 選考日時・場所・方法

シラバスをよく読んでください。1年間に規定の分量を書く自信のある学生はすべて受け入れます。希望者は履修登録期間中に各自履修登録を行ってください。

### 3. 問い合わせ先

メールアドレス: NAA02032@nifty.ne.jp

### 4. 備考

---

## 菊澤ゼミ募集のご案内

◎ゼミのテーマ： 家族社会学～家族と社会を考える

◎当ゼミではメンバーを新規に募集しています。シラバスやゼミ紹介パンフレット等でゼミ内容をご確認のうえ、下記の要領でご応募ください。

◎募集人数： 演習1（新2年生） 15名程度

◎選考方法： レポート（希望登録票を含む）\*

\*感染症の現況に考慮して、面接は実施しませんが、4/2（木）～4/4（土）の間に、適宜メール・電話等で補足的な問い合わせをする可能性があります。この期間は、メール等に注意しておいてください。

◎応募の手順：

- 1) 事務課に希望登録票を提出してください（事務課の〆切日までに）。  
→希望登録票の「備考欄」には、次の3点を書いてください。（formに書ききれない場合は2）のレポートを送付する際、メール本文中に書いて送っていただいても構いません。）
  - ① 昨年のゼミ紹介ウィークスの菊澤ゼミイベント（説明会やオープンゼミ）への参加の有無（なければ無しと記入）
  - ② これまでに読んだ、広く社会学/家族社会学に関わる本（あればその書誌情報と読後感を、なければ無しと記入）
  - ③ ゼミのグループワーク\*やゼミ運営（ゼミ長、合宿係、新歓係等一人一役担当）への抱負  
（\*当ゼミの演習1では個別ワークを基盤としつつグループワーク（3名程度から成る班単位の学習）を取入れています。なお、演習2以降は個別ワークが中心となります。）
- 2) 以下の2つのファイル（学年・学科・ID番号・氏名を明記）を、4月2日木）18:00（〆切厳守）までに下記の問い合わせ先メールアドレス宛にメール添付で送ってください。メールの際、件名欄に「演習1希望（氏名）」と明記してください。  
ファイル① ゼミ志望理由を書いたレポート（A4一枚、様式自由、Wordで作成）  
ファイル② 基礎ゼミ等で作成したレポート（1つ）
- 3) 4/2（木）～4/4（土）の間、もしメール・電話等での問い合わせがあれば、対応してください（何も無い場合もあります）。

◎結果発表：

結果は、4/4（土）の夜までに、レポート提出に使用されたメールアドレス宛に、メールで通知する予定です。

◎問い合わせ先：

kaz180401◆gmail.com（ゼミ選考専用アドレス）

（注：◆を@に変えてください。kazは全て小文字、180401は全て数字です）

# ゼミ説明会資料（北浦ゼミ）

## 【ゼミの方針】

卒論を書く！ シンプルに、これだけです。

## 【ゼミのスケジュール】

<u>2年前半</u> 行動経済学の講義（北浦が実施）を聞いたうえで自分のテーマに合った行動経済学理論を探す。	<u>2年後半</u> 行動経済学理論にもとづいてゼミ生を対象に実験を行う。
<u>3年前半</u> アンケートを作成する。	<u>3年後半</u> アンケートを実施する。10,000字（以上の）ゼミ論作成。
<u>4年</u> 卒論を書く。	

## 【演習1の課題】

希望登録票に以下の情報を記入してください。

- 希望登録票の「上記演習を希望する理由」欄に「自分が取り組みたいテーマ＝**卒論のネタ**」を400字から800字程度で記入してください。それ以外のことは書かないでください。

面接の際、「卒論のネタ」を確認します。基本的に、私は下記の「演習2・演習3 課題」をもとに質問します。

- 希望登録票の「備考」欄に

- ・所属サークル名および活動曜日
- ・所属体育解明および活動曜日
- ・バイト名および曜日

を必ず記入してください。サークルに入っていない、バイトしていない等は記入しなくて構いません。

## 演習2および演習3の課題（wordで作成。表紙をつけて、表紙にメールアドレスを記入してください。）

### 1. ゼミ論のテーマ

タイトルをつけてください。（40字まで）

### 2. ゼミ論を、そのテーマにするに至った経緯

あなたが、なぜ、そのテーマで書こうと思ったのか、**400字以上（800字以内）**で書いてください。

もし、（1）自分の過去の経験・体験 （2）バイトやサークル、体育会等の経験 （3）自分が将来就きたい職種 からテーマを選んだ場合、より具体的に記述してください。

### 3. ゼミ論を、どのようなアプローチで書こうと思っているか？

あなたの選んだテーマに対して、どのようなアプローチで書こうと思っているか **400字以上（800字以内）**で書いてください。もし、（1）アンケートを用いる （2）（映像などの）実験を行う ような場合は、どのような方が対象者なのか詳しく記述してください。

### 4. ゼミ論の「仮説」

あなたの選んだテーマに対する「仮説」を2つ挙げてください。（**字数は自由**）

### 5. 予想される結果について

あなたの選んだテーマに対する仮説に関して、予想される結果（2つ）を**それぞれ400字程度**で書いてください。

- ・仮説1に対する結果：400字程度
- ・仮説2に対する結果：400字程度

## 高ゼミ（映画研究ゼミ） 選考案内

今年度はコロナウィルスの感染リスクを最小限にするために、面接を行わず提出課題のみで選考を行います。高ゼミに応募する人は、4月1日までに事務課の指定する方法で希望登録票を提出の上、下記の通り課題を4月2日（木）15:00までに提出してください。

### 課題

以下の (1)～ (5) をワードで作成しメールに添付して提出すること。

- (1) 学籍番号/名前
- (2) メールアドレス
- (3) 志望動機(300～400 字程度)  
どうしてこのゼミをとりたいのか。このゼミでどんなことを学んでいきたいのか。
- (4) 私の大好きな映画(300 字程度)  
あなたの「大好きな映画」について、その映画のどんなところが好きなのか、**熱〜く(!)**語ってください。
- (5) レポート（1000 字程度）  
これまでに自分が実際に観た映画（どの国の映画でも OK です。アニメ、ドキュメンタリーでも OK）をひとつ選び、その映画を「ナショナリズム」、「ジェンダー」、「マイノリティ」、「多文化」、「歴史観」、「社会問題」のいずれかのキーワードをもとに自分なりの考察を書いてください。  
(注：インターネット等の情報でなく、自分自身の考えであること)

**提出方法：** Eメール  
上記 (1)～(5)を Eメールの添付書類として M.Ko@hosei.ac.jp 宛に送ってください。(一つのファイルにまとめること)  
件名には以下の通り記すこと：高ゼミ 1 次募集 (学籍番号・名前)

**提出期限：** 4月2日（木）15:00  
受け取り後、受領メールを返信します。返信がなければ届いていないということですのでメールアドレスを確認後再送してください。

**選考結果の発表：** メールにて連絡します。  
4月3日（水）17:00 までにメールでお知らせします。  
上記時間までに結果を受け取らなかった人は連絡してください。  
(連絡先：[M.Ko@hosei.ac.jp](mailto:M.Ko@hosei.ac.jp))

### 注意事項：

高ゼミは今年度から内容が少し変わりますので、応募の際にはかならずパンフレットをよく読んでください。パンフレットは社会学棟 10 階 1013 室前の箱に入っています。来校できない場合は高ゼミ Twitter (<https://twitter.com/koseminar>)上で確認するか、[M.Ko@hosei.ac.jp](mailto:M.Ko@hosei.ac.jp)宛にメールで請求してください。

演習名 ( 越部 清美 )ゼミ

## 1. 課題について

課題( あり )・なし )

詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

課題1 これまで、どのようなことに興味・関心をもってきましたか

課題2 特にアピールしたいことは何ですか

※上記課題1と2を書いたレポート(A4 サイズ1枚程度、様式は自由)を選考時に持参する

## 2. 選考日時・場所・方法

※演習2・3の新規募集を行うゼミは、演習2・3の選考情報もご記入ください。

日時: 4 月 3 日 ( 金 ) 10 : 00 ~

場所: 620教室

方法: 非言語による表現(絵や写真、スポーツ、ダンスなどでアピールする)

及び面接(注:1対1で行います)

時間については、個別にメールにてご連絡します。

## 3. 問い合わせ先

koshibe@hosei.ac.jp

## 4. 備考

質問があれば越部まで問い合わせてください

ゼミの詳細については、2019年10月に配布した「2020年法政大学

専門演習(ゼミ)紹介パンフレット」をご確認ください。

## 小林ゼミ 2020 への招待

### 【教員からのメッセージ】

このゼミのテーマは「メディア表象としての現代社会を読み解く」です。

「社会」とは、どんな時代でも、語られ、描かれるものです。だから、どんな時代の、どんなメディアの世界でも、そこに社会の姿や歴史さえもあります。

それを読み解いていく試みは容易ではありませんが、驚くほどの発見が、そして喜びがあります。これこそが、大学ならではの知の経験なのです。そして、学び、育んだ知を自信に、ゼミ生が、社会をしなやかに生き抜くプロフェッショナルになることを目標にしたプロジェクトが小林ゼミです。このプロジェクトは、新たな参加者を求めます。

### 【ゼミ生からのメッセージ】

小林ゼミでは、ゼミ活動時には真剣に取り組み、遊ぶ時は遊ぶとてもメリハリのあるゼミです。合宿やサブゼミなどで先輩との交流もあり、とても楽しく活動できます！サークルとアルバイトの両立もできます。本や映画、映像や音楽が好きな人、大学生活を充実させたい人、是非一緒に学びましょう！

小林ゼミ公式 Twitter 「法政大学小林ゼミ@nkseminar」もご覧ください。

### 【ゼミの進め方】

Iゼミ(2年次)は、基礎研究の文献の講読、ディスカッションと、テレビ番組、映画、写真、さらには音楽といったメディアの世界の分析が主要な内容です。レギュラーのゼミでは文献研究を中心に進め、IIゼミも加わるサブゼミで経験的な分析作業を進め、それらを総合した研究成果を、12月に開催される他大学のゼミも参加する「社会学合同セミナー」で発表します。

IIゼミ(3年次)もレギュラーのゼミは、Iゼミとほぼ同じ方法で進めますが、夏季休暇を利用したフィールドワークを行います。それらを総合した研究成果を、やはり「社会学合同セミナー」で発表します。このほかに、夏季休暇中には、IゼミとIIゼミ合同で合宿を行います。

時間割は、水曜日5限がIゼミ、水曜日4限がIIゼミです。

今年度のテキストなどはシラバスを参照してください。

### 【選考の方法】

Iゼミ、IIゼミとも、履修希望者は下記の方法で課題を提出してください。なお、この課題は、Google フォームで提出する「演習希望登録票」とは別に、必ず提出してください。

・課題:「小林ゼミで何を学びたいか」をテーマにした A4サイズ1枚以内の文章をまとめてください。学科、学年、学籍番号、氏名を忘れずに書いてください。

・提出方法:メール添付で下記のアドレスに送信してください。

[ryota.gohara.2t@stu.hosei.ac.jp](mailto:ryota.gohara.2t@stu.hosei.ac.jp)

・提出期限:2020年4月2日 18:00 \*厳守

\*背景写真:2018年度フィールドワークで撮影した福島県飯舘村の風景

## 齋藤担当「演習1」：ゼミ説明会に代えて

都知事による都市封鎖（ロックダウン）の可能性への言及を受け、説明会を資料配付に代えることとします。

## 1. ゼミのテーマ（公平さと公共性について社会学的に考える）について

「公平さ」と「公共性」を手がかりに、社会学的な思考方法と論証の方法、つまり「何かを客観的に語る方法」を身につけることをめざします。ゼミのテーマの抽象度は高いのですが、それはそのまま、ゼミ研究で扱うテーマの守備範囲の広さにつながります（表1参照）。

表1 ゼミ研究テーマの例示

2018年度演習1 ゼミ研究テーマ	2019年度演習1 ゼミ研究テーマ（進行中）
流行歌と恋愛 結婚観の変化 「公助」と高齢者の孤立 「炎上」でみる現代日本のジェンダー観	「Instagramに投稿すること」の意味 女性差別撤廃条約の批准と学校教育 ボランティアと「ただしさ」

もちろん、このほかに、格差、不平等、表現の自由、マナーとルール、安全と自由・・・などなど、さまざまなテーマがあります。「〇〇すべきだ」「××すべきでない」といった「べき」をめぐるひとびとの観念は、私たちが暮らす社会でどのような秩序や行動のパターンが出現するかに影響を与えます。それを客観的にとらえようとする、これが「ただしさを社会学的に考えてみる」ということです。

注意が必要なのは、このゼミは、「なにが正しいのか、その実現はどうあるべきか」は扱わないということです。例えば「安全と自由を両立するための政策を考える」「安全と自由の両立はどうあるべきかを考える」といった問題設定は、守備範囲外なので、気をつけてください。

## 2. ゼミのすすめかたについて

学年合同のゼミは行いません。演習1の前半で基本的なテキストを輪読し、演習1後半から演習2前半の一年間はグループごとに選んだテーマ（＝問い）についてゼミ研究を行い、その成果を論文にまとめます。演習2の後半は、自分の関心を深め、卒業論文に備えます。いうまでもなく、ゼミは出席が原則です。

## 3. ゼミで学ぶ「方法」について

私自身は計量的な手法（統計解析）を使い「統計調査法」も担当していますが、ゼミではそれを必須としていません。ゼミ研究で選んだテーマを追求するのに適切な手法を身につけることを目指します。統計解析を使ったゼミ研究をした学年もありましたが、そのような場合は、ワークショップを実施します。

## 4. 選考について

電子メールによるゼミ志望理由書の提出で選考会を代替します。

- 1) 提出締切：4月3日（金）15：00
- 2) 提出先：saito.seminarrecruitment2020@gmail.com（全て半角，saito のあとに半角ピリオド）
- 3) 方法：締切までに下記を記載した文書をメールに添付し提出してください（添付ファイルを利用できない場合はメール本文に記載）。志望理由とゼミテーマとの適合性を基準として選考します。

記載内容：①氏名・学科・学生証番号 ②ゼミ志望理由（自分の関心を中心に志望理由を述べること）

- 4) 課題の有無：志望理由書のみ。

## 5. 問い合わせ先

saito.seminarrecruitment2020@gmail.com（志望理由書提出先と同じ）

## 2020年度 演習1・IIについての説明（佐藤成基）

### 【ゼミの全般的テーマ】

ナショナリズムと国家

### 【運営方針】（シラバスも参照せよ）

- ・今年度のゼミのテーマ（以下参照）について様々な文献（日本語と英語）を講読する。
- ・それと並行し、各自テーマを決め、年度末に小論文を提出する。

### 【今年度のテーマ】

#### ◆移民と国民国家（西欧・北米・日本）

いわゆるグローバル化により移民や難民が増加しつつあるなか、それを受け入れる先進諸国（欧州や北米、そして日本）がいかなる反応をしているのかを比較しつつ調べ、今後の移民と国民国家（および国民社会）の関係について検討する。

〔春学期〕まず西欧諸国の状況から見ていく。近年の難民の増加により、西欧諸国では排外主義的勢力が台頭している。しかしまた、第二次大戦後から数十年に渡り移民を受け入れてきたという経緯もある。西欧諸国はいかに移民を受け入れ、また排除しようとしてきたのか（しているのか）を検討する。また、最近の日本の移民政策（公式にはそう呼ばれていないが）についても考え見る。

〔秋学期〕国民国家の基礎的制度の一つである「国籍」について考える。国籍とは国民とは誰か、誰が国民になれるのかを規定した法的な制度である。移民が増えてくれば当然、彼らやその子供達の一部は「国民」になる。どの国家も国籍制度をもっている。このゼミでは、西欧・北米・日本においてどのような国籍制度があり、また現在どのような点が問題にされているのかを調べてみる。

### 【基本テキスト】

宮島喬・佐藤成基『包摂・共生の政治か、排除の政治か 移民・難民と向きあうヨーロッパ』（明石書店、2019年）

高谷幸編『移民政策とは何か 日本の現実から考える』（人文書院、2019年）

ロジャーズ・ブルーベイカー（佐藤成基・佐々木てる監訳）『フランスとドイツの国籍とネーション 国籍形成の比較歴史社会学』（明石書店、2005年）

Eric Kaufmann, *White Shift: Populism, Immigration and the Future of White Majorities* (Penguin Books: 2008)

（その他にいくつかの論文を読む予定）

### 【選考方法】

以下のテーマで2000字以上のレポートをワードで作成し、メール（ssbasis@hosei.ac.jp）に添付して4月3日（金）午後7時までに提出せよ。それを参考にして選考を行う。

「上に掲げてあるこのゼミの全般的テーマ、あるいは今年度のテーマについて、自分自身の関心や自分が見聞したことなどと関係づけながら論述せよ。また、その問題に関して最近読んだ本や文章があれば、それについても具体的にふれること。」

\*3年生（演習II）も専攻の対象とする。

---

---

澤柿ゼミを希望する学生の皆さんへ

---

---

- ・3月30日に予定していた説明会は実施しません。
  - ・4月2日に、「10～15分程度のネット面談」による選考会を行います。
  - ・提出課題はありません
- 
- ・ネット面談は ZOOM を用いるため、あらかじめ自分のパソコンやスマホで ZOOM が使える状態にしておいてください。
  - ・4月1日に事務へ希望票を提出するのと同時に、私までメールを送ってください。そのメールに対して ZOOM への参加方法を指定した招待状を送ります。
  - ・メールで指定する時間に、ZOOM の指定したアドレスにアクセスしてください。

---

メールアドレス：[sawagaki@hosei.ac.jp](mailto:sawagaki@hosei.ac.jp)

メール受付締切：4月1日 22:00

個別面談日時：4月2日 9:30 に最初の面談を開始（一人 10～15分程度）

～終了は希望人数によります

面談予定時間：各自の開始時間をメールにて指定しますので、その時間に ZOOM にアクセスしてください。

## 島本ゼミ テーマ：世界の食料、森林、エネルギー等の資源管理

### 【演習1の内容】

#### 4月～6月 環境・資源の基礎知識を得よう！

生源寺眞一『農業がわかると、社会のしくみが見えてくる』家の光協会

鈴木 宣弘（2013）『食の戦争 米国の罠に落ちる日本』（文春新書）新書。

島本美保子（2015）「熱帯林を中心とした国際的な森林保全」、『シリーズ環境政策の新地平5 資源を未来につなぐ』第3章，岩波書店。

和田武（2016）『再生可能エネルギー100%時代の到来』，あけび書房。

を全員レジュメを作成しながら輪読（レポーターが文献の内容を説明し、内容に即したテーマで議論します）します。

**春合宿** 5月後半の土、日に1泊2日で春合宿を行います。内容は新潟県（門出集落）で田植えをします（所要費用2万5千円程度）。

#### 6月～11月 グループ研究でリサーチの方法や論理構築のスキルをアッスしよう！

11月末の学部研究発表会に向けてグループ研究をします。グループは最低限マクロ班とミクロ班に分けます。

ミクロ班……日本の食やエコロジーを支える農村の現状、村おこしのための取り組みについてリサーチする。門出集落のヒアリングを先導する

マクロ班……貿易や一国または国際的な政策から環境・資源を分析するようリサーチを行う。

**夏合宿** 9月中旬に2泊3日で夏合宿を行います。内容は門出集落での稲刈り及び調査です。（所要費用3万5千円程度）

#### 12月～1月 環境・資源問題の背景や本質を考える文献講読

スーザン・ジョージ著『世界の半分がなぜ飢えるのか』（朝日新聞社）を輪読します。

### 【演習2、演習3の内容】

演習2ではゼミ論中間報告を年間4回ずつ行い、12月末にゼミ論文（8000字以上、参考文献10編以上）を提出していただきます。

演習3では、step1～step4の年間4回の中間報告を行い、卒業論文（24000字以上、参考文献20編以上）を提出していただきます。

### 【ゼミ生の人数】

2019年度は2年生：14名、3年生：12名でした。18名まで募集いたします。

### 【その他】

門出集落への合宿は演習の学びにとって大変重要ですので、参加できる方がご応募ください。（ゼミ生より）ゼミの様子は@shimamoto\_zemiで検索を。質問はDMで受け付けています！

演習名 ( 白田ゼミ 演習1, 2 )

## 1. 課題について

課題( あり・なし )

### 詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

提出物等は要求しませんが、これまで白田ゼミがやってきたことについてどのくらい知っているのか質問し、白田ゼミで何を調べ何をしたいのかを問いますので、なるべく具体的に説明できるよう準備しておいてください。

## 2. 選考日時・場所・方法

※演習2・3の新規募集を行うゼミは、演習2・3の選考情報もご記入ください。

日時: 4月 4日 (土) 14:00～

---

場所: 518教室

---

方法: 教員による面接による

---

## 3. 問い合わせ先

h\_shirata@nifty.com

## 4. 備考

選考会は演習1, 2とも同じ方法で合同で行います。

---

## 白鳥ゼミナール

学生を信頼し自治を重視！！みんなでじっくり「政治」を学ぼう！！

白鳥ゼミでは、何よりも学生を信頼し、組織の活動を自らデザインする「自治による運営」を実践しています。「現代政治分析」をテーマに、国際・国内の政治を専門に学んでいます。また、政治についての世論を形成する「メディア」についても学んでいます。「政治学」と聞くとなんだか難しい学問のように聞こえますが、学んでみると奥が深くて学びがいのある学問です。私たちのくらしは政治が作ります。将来どのような職に就くにしても、政治学を学び、OB・OGも公務員、銀行、メディアなどの各方面で活躍しています！！

### ゼミの進め方

通常のゼミの時間では、政治学、特に現代政治分析をテーマとする学術書を全員で読み進めていきます。レジュメを順番に作成・報告し、それをもとにディスカッションを行っています。当然、そこではゼミ生が自ら議論を進める「学生ファースト」で行われます。

白鳥ゼミの一番の特徴は、大学の外に足を運んで学べる機会が多いことです。実際に野田前首相を含め、伊吹元衆院議長、山本太郎れいわ新撰組党首、など政治家や著名な学者にお話を伺ったり、他大学の人と議論や交流をする機会が多数あります。その中で、コミュニケーション能力の修得や、良き友人の獲得を目指しています。今年度はコロナの影響で、学生の「安全第一」を優先し、活動は変更される可能性があります。

### ゼミ活動の運営

学生主体の自治でゼミを運営しています。それは「責任ある有権者」としての学生に対する信頼に基づくものです。ゼミでは役割分担をし、みんなで協力して活動をしています。毎回のゼミに対しては各自で文献を読んでくるなどの予習が求められます。また、ゼミ行事はありますが、みなアルバイトやサークル、部活動、自主マスなどと両立し積極的に活動しています。活動量が多い分、学びの質や充実度はかなり高いものです。



↑ 野田佳彦前首相とゼミ生



↑ 記念撮影その2



↑ 福島瑞穂先生や山本太郎先生も

## 法政大学社会学部現代史ゼミ(教員: 愼蒼宇)

### 「歴史」から現代社会・世界の諸問題を考える

本ゼミは、「歴史」から現代社会・世界の諸問題を考える、がテーマです。「歴史は難しい」と思う人は多いと思いますが、歴史の積み重ねの上に、私たちが抱えるさまざまな問題は存在しています。その意味で歴史的思考はすべての学びの根幹に深く関わるものといえます。

歴史的背景を考える豊かな教養と思考力・論証力を身につけることを目標に、現代社会(日本・東アジア・国際社会)の諸問題を広く捉える力を、ともに培うことができたと考えています。

#### 〈演習2〉で取り組むこと

**ゼミ共同研究：基礎研究＋現地調査＋研究発表＋ゼミ論集作成**

**【2019年共同学習テーマ】  
「九州から見た近世・近代・現代の日本」**

演習2  
2019年共同研究調査②



2019年9月13日長崎・端島(軍艦島)

2019年9月12日折尾・九州朝鮮高級学校→

2019年9月14日長崎・大浦天主堂



#### 〈演習1〉で取り組むこと

- ・前期：歴史に触れる文献購読  
(入門＋歴史認識)
- ・夏合宿：フィールドワーク事始め  
長野・松代大本営



- ・後期：「博物館展示」をイメージした  
グループ研究発表  
(パワポ／映像／資料)

### 3. 日露戦争前後の新聞風刺画

～国民は戦争をどのように見ていたか～



(團圓珍聞 明治10年(1877)/5.12 挿絵より)

社会学部唯一の歴史学系ゼミです。ゼミ生は歴史(日本史・世界史)が好きな人から、そうでない人までさまざま、日本と東アジアの関係、韓国・朝鮮文化に関心のある方も多いです。資料調査、フィールドワークもあります。一緒に楽しく真摯に学びましょう！

# 2020年度 鈴木智道ゼミ

## —— 1ゼミ生募集要領 ——

鈴木智道ゼミのゼミ紹介資料「2020年度 鈴木智道ゼミ——17期募集案内——」をWeb上にアップしておきました。右のQRコード、あるいは下のURLからダウンロードできます（PCからの場合、URLをクリックすれば自動的にダウンロードが始まります）。

本ゼミに関心のある新2年生は、この資料や「ゼミ紹介パンフレット」を参照し、本ゼミの“コンセプト”と“仕組み”をよく理解した上で、応募を検討してください。



<https://bit.ly/3dut2mt>

### ① 「2020年度 演習1希望登録票」の提出（2020年4月1日（水）15:00までにWeb提出）

- 「希望登録票」の「上記演習を希望する理由」欄は「別紙記載」としていただいてかまいません。
- 同「備考」欄は空欄でかまいません。特記事項がある場合のみ使用してください。

### ② 「志望理由書」の作成・提出

#### 【内容】

(1) 鈴木智道ゼミを志望する理由【文字数=任意】

(2) 現時点での問題関心の概略【文字数=1,000字程度】

- (1) と (2) を、それぞれ別ファイルにして作成してください。
- (1) の1行目は「鈴木智道ゼミを志望する理由」とし、2行目を空け、3行目に「学年・クラス・学生証番号・名前」を記載してください。4行目を空け、5行目から本文を書き始めてください。
- (2) の1行目は「現時点での問題関心の概略」とし、2行目を空け、3行目に「学年・クラス・学生証番号・名前」を記載してください。4行目を空け、5行目から本文を書き始めてください。
- (2) は、関心のあるテーマとその説明を、一般的なレポートの要領で作成してください。入ゼミが許可された場合、ここで選定したテーマが、1ゼミでの活動のさしあたりの出発点となりますので、慎重に検討してください。ただし、テーマは入ゼミ後、変更もできます。

☞ **2020年4月2日（木）【AM11:00】までに、下記メールアドレスに（1）（2）のファイル2本を送付してください。**

★【送付先メールアドレス】 [tomomichi.seminar17@gmail.com](mailto:tomomichi.seminar17@gmail.com)

（メール送付にあたっての注意事項）

- ※ 件名を「【鈴木智道ゼミ希望】学生証番号：名前」としてください。
- ※ ファイル名は、(1) = 「志望理由」、(2) = 「問題関心」としてください。
- ※ 本文には何も記載しないでください。ファイル2本を添付するだけでかまいません。

### ③面接

☞ **2020年4月3日（金）11:00～（場所：614教室）**

- 鈴木智道と1対1の面接を受けてもらいます。
- 応募者それぞれの面接開始時間は、4月2日（木）中に、上記「志望理由書」を送付した応募者のメールアドレス宛にお知らせします。
- 場合によっては、面接開始時間が夕方以降になることも予想されます。この日の午後に予定などを入れないようご協力ください。
- 4月2日に送付した「志望理由書」をプリントアウトの上、持参してください。
- 新型コロナウイルス感染拡大状況により面接の実施は不可と判断された場合、「志望理由書」の内容等得られた情報に基づき演習1履修許可者を選考することにします。ただし、場合によっては、個別にメールで問い合わせることもありますので、こまめにメールをチェックしてください。

### ④演習1履修許可者の発表

☞ **2020年4月4日（土）に、応募者のメールアドレス宛に結果をお知らせします。**

## 演習名 ( 鈴木智之 )ゼミ

### 1. 課題について

課題( あり )

#### 詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

課題1: 以下の論文をよく読んでくること(面接時に感想を聞きます)。

(この論文は、ゼミでの研究活動に直結するものです。読んでみて、面白いと思えないようであれば、ゼミの活動は苦痛になると思います。読んだ上で「志望票」を出してください)。

「先天性心疾患とともに生きる人々の生活史と社会生活」、『社会志林』、第57巻・第1・2号、2010年(<http://doi.org/10.15002/00021109>)。

課題2: 「弱さ」について

このタイトルで、あなたが感じたこと、考えたことを、1500字程度にまとめて文章化してください。

(4月3日、正午までに、[tomoyuki.suzuki@hosei.ac.jp](mailto:tomoyuki.suzuki@hosei.ac.jp)まで送付すること)

### 2. 選考日時・場所・方法

※演習2・3の新規募集を行うゼミは、演習2・3の選考情報もご記入ください。

日時: 4月 3日 ( 金 ) 13 : 30 ~

場所: 611 教室

方法: 面接 (演習2からの参加を希望する人も、演習1と全く同じ形で選

考を行います。演習3については、個別に鈴木智之まで相談してください)

### 3. 問い合わせ先

[tomoyuki.suzuki@hosei.ac.jp](mailto:tomoyuki.suzuki@hosei.ac.jp)

### 4. 備考

2020年度 鈴木宗徳ゼミ 演習説明会資料  
(演習2・3の募集や2次募集・3次募集も、この内容に沿って行います)

鈴木 宗徳 (vzr00047@nifty.com)  
↑質問は気軽にどうぞ！

この資料の内容を口頭で説明した動画が以下のYouTube上にあるので、必ず見ておいてください。

<https://youtu.be/7ust2AEmywc>

#### 1. 鈴木宗徳の自己紹介

- ・専門は社会学理論の研究です。とくにドイツの社会学者の学説(マックス・ヴェーバー、ユルゲン・ハーバーマス、ウルリッヒ・ベック)を研究してきました。基本的には、重厚な難しい本を読むのが好きな人間です。
- ・しかし、それに劣らず現代社会のさまざまな問題に興味があります。近年は、貧困・福祉・雇用といった問題を理論的に把握する研究にとり組んでいます。また、講義では「公共性と民主主義1・2」(金曜2限)を担当しています。
- ・理論を勉強するということは、ただ昔の人が書いたことを有難がって読むだけではなく、現代社会の諸問題を解決する上で理論のどの部分が役に立つのか、あるいは役に立たないとするればそれは何故なのかを考えることだと思っています。

#### 2. 鈴木宗徳ゼミとは何か

- ・ゼミのテーマは「現代における批判的 sociology の可能性」。キーワードは、「理論的」であること、そして「批判的」であることです。欧米の社会学理論を学ぶことによって、現代社会を批判的に分析する視点を獲得することが目的です。
- ・それなりに難しい社会学理論の本を読んでもらいます。「人類最高水準の教習」を経験することは、その後の人生で安易な妥協の道を選ばないために不可欠だと思っています。ただし、素人同士で「難しいね」と言いながら読めばよいのであって、心配することはありません。それでも読む人によって理解の仕方や理解できた箇所が異なるので、難しい本はみんなで読んで理解が深まります。
- ・「批判的」であることは、自分を解放し、自分を自由にする上でとても重要なことです。世の中の理不尽な仕組みを「仕方がない」「みんな我慢しているのだから」と受け入れるのではなく、その根本的な成り立ちにさかのぼって理解すること。ここにこそ、社会学部での学びの極意があります。
- ・多くの学生は、「将来の自分にとって役に立つこと」や「素朴に面白いと感じられること」について、ゼミで学びたいと考えているでしょう。そうした勉強の意義を否定はしませんが、他にもたとえば、「社会的弱者にとって社会はどのように見えているか」とか、「社会をより良くするための方法はあるか」といったことも考えてほしいし、それは大学でしか勉強できません。

#### 3. テキスト講読について

1

- 2017年: 福島県山形市や福島市などを訪ね、原発事故後の子どもの脱被ばくを訴える母親たちや、農業従事者、地元新聞社、飯館村から避難した被害者団体の代表にインタビューをしました。
- 2018年: 日系ブラジル人/ペルー人が集住する静岡県浜松市を訪ね、ブラジル人学校長、請負業者、浜松国際交流協会、外国人学習支援センターなどでインタビューを行なった。
- 2019年: 横浜市寿町周辺の簡易宿泊所を訪ね、貧困な高齢者やホームレスの支援者、医師、自立支援施設などでインタビューを行った。

- ・今年のテーマですが、「川崎の朝鮮学校と在日朝鮮人コミュニティ」について研究します。多文化共生のまちづくり、民族教育、そしてヘイト対策について学ぶ予定です。4月下旬から準備のための勉強を始めます。

#### 5. 個人研究発表について

- ・個人研究のテーマは必ずしも理論的のものでなくて構いません。ただし、そのテーマを勉強する上でより適切な先生が他にいるときは、そちらのゼミに行くください。
- ・2年生の場合、秋学期に個人研究発表をやってもらいます(3・4年生は春学期にやってもらうかもしれませんが)。その成果は、年度末にゼミ論にまとめて提出してもらいます。
- ・2019年度の卒論やゼミ論のテーマは、「承認の哲学」、「占領期の在日朝鮮人政策」、「発達障害者と能力主義」、「ルーマンとバーソンス」、「死の歴史」、「AIによる差別」、「ヘイトスピーチ」。
- ・さらにさかのぼると、「週刊誌における生活保護バッシング」、「東京ディズニーリゾート」、「教育政策と生きづらいつい社会」、「部活と体罰」、「教育格差」、「在日朝鮮人文学」、「感情労働としての看護」、「福祉国家論」、「おたくの変遷」、「新疆ウイグル自治区の民族問題」、「時間と意味」、「日欧の刑罰制度の歴史」、「日米の労働運動」、「自己責任論の受容のされ方」、「熟議民主主義」、「60-70年代の団地における市民運動」、「大学教育と人文学の危機」、「精神分析からみた現代社会の不安/他者/文化」、「戦後の開発主義政策と持ち家神話」、「55年体制の崩壊」、「アルゼンチンの社会運動と連帯経済」、「身体と電子メディア」、「68年の学生運動とリブ」、「『啓蒙の弁証法』の道徳論」、「フーコーと抵抗」、「論理哲学論考」における生」、「科学論における社会的要因」、「戦後の高等教育」...といったテーマがありました。他に面白いテーマがまだまだあるはずですから、あまり参考にしないでください。
- ・これまで2名が、社会学部の「優秀卒業論文」に選ばれています。

#### 6. ゼミの進め方

- ・「演習1」(2年)を金曜4限、「演習2・3」(3・4年)を金曜3限に設定していますが、もう一方のゼミにも(単位にはならないけれど)出席することを義務とします(毎週100分×2コマの出席)。授業時間割を計画する上で制約が生じるので、それを理解した上で希望票を提出してください。
- ・2コマ連続でおこなう理由は、そのくらい議論しないと充実感が得られないからというのと、他の学年から刺激を受ける機会が必要だと思うからです。実際にゼミ生にも好評です。事実上そのくらい長時間かけてやっているゼミやサブゼミの出席を義務づけているゼミは、他にもたくさんあります。
- ・とくだんの理由がなければ、鈴木が担当する「公共性と民主主義」(金曜2限)も履修してください。

3

- ・ゼミは「テキスト講読」、「個人研究発表」、「研修旅行」の三本立てです。
- ・学期ごとに一冊ずつテキストを講読します。春学期のテキストは初回のゼミで決めます。候補である以下の本を図書館でチェックし、読みたい本を初回のゼミで教えてください。内容や評価についてネットで検索しておくのもいいと思います。
  - アレント『全体主義の起源 3 全体主義』
  - ライアン『監視文化の誕生——社会に監視される時代から、ひとびとが進んで監視する時代』
  - ベンヤミン『ベンヤミン・コレクション① 近代の意味』
  - バーマン『デカルトからペイトソンへ——世界の再魔術化』
- ・テキストが決まったら、すぐに生協で共同購入の注文をします。生協で買うと割引になりますが、事前に自分で買いたい、あるいは古本屋で買いたいので共同購入に参加したくないという人がいたら、必ずその日に教えてください。
- ・これまでも毎年2冊ずつ、次のような本を読んできました。石田勇治『過去の克服』、ファンン『黒い皮膚・白い仮面』、パウマン『コミュニティ』、ブルデュー『ディスタンクシオン』、アンダーソン『想像の共同体』、ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』、ドゥルーズ『差異と反復』、フーコー『フーコー・コレクション (6) 生政治・統治』、フロム『自由からの逃走』、リッツァ『社会の魔術的体系』、アレント『人間の条件』、パウマン『ホロコーストと近代』、など。

#### 4. 研修旅行について

- ・夏休みに二泊三日(くらい)の“研修旅行”を実施し、春学期はその準備にかなり時間を費やします。
- ・行き先の選定、アポイント、質問項目の絞り込みなど、ほとんどゼミ生自身に行ってもらいます。その後、報告書の作成(10月)と学部研究発表会での報告(11月末)を行ないます。
- ・ゼミの中心は理論研究ですが、大学で勉強をする上で、「問題が起こっている現場を見る」、「ゼミ生と共同作業をする」という経験は不可欠です。「社会調査」と呼べるほど厳密なやり方ではないため“研修旅行”と称していますが、とても刺激的な経験ができるはずですよ。
- ・これまでの研修旅行のテーマと行き先は、以下のとおり。

- 2010年: 愛知県豊田市の日系ブラジル人労働者が集住する地域を訪ね、市役所、公立学校、語学教室、請負会社などでインタビューを行なった。
- 2011年: 静岡県御前崎市の浜岡原発周辺を訪ね、原発反対運動家、市議会議員、商工会議所、新聞社などでインタビューを行なった。
- 2012年: 被災地の復興を視察するため宮城県石巻市を訪ね、市議会議員、宮城県漁協、石巻赤十字病院などでインタビューを行なった。
- 2013年: 大阪市釜ヶ崎の高齢の日雇労働者が集住する地域を訪ね、ホームレス支援、子どもの支援、高齢者への仕事の斡旋を行っているNPOなどでインタビューを行なった。
- 2014~2015年度は、在外研究のため鈴木はゼミを担当しなかったが、兼任講師の三崎和志先生の指導のもと、2014年度は岐阜市で外国人技能実習生問題について、2015年度は東村山市の多磨全生園や草津市の栗生楽園で、ハンセン病患者の隔離の歴史について学んだ。
- 2016年: 大阪市と京都市を訪ね、ヘイトスピーチや排外主義運動問題に取り組んでいる在日コリアンの団体やジャーナリストの方にインタビューを行なった。

2

#### 7. 募集について/選考について/選考までにやっておくこと

- ・演習1(2年生)だけでなく、演習2や3も募集します。ほかのゼミを履修しながら出席したいという人も歓迎します。
- ・選考は4月3日(金)の午前中から行う予定です。鈴木一人による面接で、一人ずつ時間をずらして呼び出します。マスクを着用するなど、感染対策に留意してください。WEBでの面接も検討します。
- ・鈴木がこれまでに書いた五本の論文等のコピーを下記のサイトからダウンロードし、少なくともそのうち一点を面接選考までに目を通していただきます。もし余裕があれば、いずれ、鈴木が寄稿している入門書である、豊泉周治ほか著『私』をひらく社会学——若者のための社会学入門(2F 361/70, 2F 教員著作コーナー)も読んでみて下さい。

<http://ur0.link/sZeb>

- 「公共性と熟議民主主義を分離・再接続する——『ミニ・パブリックス』の可能性」(2012)
- 「日本型社会とライフコース——その成り立ちと個人化による揺らぎ」(2015)
- 「道徳による貧困層の分断統治——19世紀福祉史と個人化」(2015)
- 「自らを劣っていると認識させることについて——救済法改革とマルサスおよびベンサム」(2016)
- 「イギリスの大衆メディアにおける貧困報道——連立政権下の福祉改革への影響を中心に」(2018)

- ・選考は次のような質問をします。答えを考えておいて下さい。

- ①これまで読んで感銘を受けた学術書について
- ②ダウンロードした鈴木論文について
- ③人文・社会科学系の講義のうち、どの授業のどの内容が面白かったか
- ④いま気になる現代社会の問題について
- ⑤自分の卒業論文のテーマについて(複数のテーマを語って構いません)

#### 8. なにを基準にゼミを選ぶか

- ・喉をたよりに楽なゼミかどうかを基準にゼミ選びをする人がいますが、「楽なゼミを選ぼうとする人が集まるゼミ」がどれだけつまらないかについて、想像してみてください。楽しいゼミを選ぶうえで最も重要な基準は、ゼミの活動に全力で取り組む人がどれだけ集まっているかどうかです。
- ・理論、学説、思想が専門の教員は他にあまりいないので、そういうことに興味がある人は、このゼミに入ってみてほしいと思います。必ずしも理論に関心がないという人は、まず鈴木の論文を読んでみて下さい。もしかすると「理論」のイメージが変わるかもしれません。
- ・どんなテーマであれ個人研究のサポートはできるだけしますが、漠然とでもやりたいことが決まっている人は、他に適切な先生がいなくてどうかよく考えてください。餅は餅屋です。
- ・メールでの質問は遠慮せずしてください。

#### 9. ゼミに入ったら

- ・日常的な連絡はメッセージリストで、ファイルのやり取りや意見交換は「LINE WORKS」というグループウェア上で行っています。登録用のメールアドレスを教えてください。

4

## 演習名 (関口 浩財政学)ゼミ

### 1. 課題について

課題( あり )・なし )

#### 詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

新型コロナウイルス感染症への感染等を最小限に食い止めるべく説明会を計画していましたが、東京都知事等の要請やここ数日の感染の推移を勘案して、会場での説明会・選考会を行う予定はありません。

それに際し説明会につきましては、ゼミ長の web メールを介した資料の配布、選考方法に関しては当方指定の B4 サイズのアンケートを記入していただき、その内容を教員並びにゼミ長が十分に吟味した上で合否発表とさせていただきます。

従いまして、説明資料の閲覧及び選考希望の方は下記問い合わせ先までご連絡をお願いします。

### 2. 選考日時・場所・方法

※演習2・3の新規募集を行うゼミは、演習2・3の選考情報もご記入ください。

日時: メール受付期間 : 3月 30日 (月) ~ 4月 2日 (木)

合 否 発 表 : 4月 3日 (金)

場所: <sup>たけだこうた</sup>武田昂太 ([kota.takeda.9y@stu.hosei.ac.jp](mailto:kota.takeda.9y@stu.hosei.ac.jp))

方法: 電子メールを通じた選考

### 3. 問い合わせ先

ゼミ長: <sup>たけだこうた</sup>武田昂太 ([kota.takeda.9y@stu.hosei.ac.jp](mailto:kota.takeda.9y@stu.hosei.ac.jp))

### 4. 備考

## 武田ゼミ（演習1・演習2）配付資料

### ①内容：日本社会の異文化に触れ、自文化を再考する

日本の地域社会に存在する様々な文化に触れつつ、皆さんが日常的に親しんできた文化のあり方について考えることを目的とします。

例えば農山漁村や地方都市における生活習慣や地縁組織、祭り、地域活性化に向けたとりくみ、観光、地域メディア等に関わり、またそれと比較しつつ、自分たちが「当たり前」と感じられる文化や生活の構造や特徴を問い直す視点を養ってほしいと考えています。

ゼミ論や卒論のテーマは、何らかの意味で「文化」や「地域社会」に関わるものであることが望ましいです。それは皆さんの身近な文化や社会であっても、そうでなくても構いません。



写真左：地方都市の祭り（長浜曳山祭） 写真右：漁村でタコの加工を学生が手伝いながら調査

### ②スケジュール

- ・ほぼ毎週、論文や本の1章分を読んでもらいます。各学期に1～2回、レジュメの担当が当たります。
- ・コロナウイルスの流行状況によりますが、文化とまちづくりについて学ぶフィールドワーク合宿を、夏期・春季の年2回行う予定です。合宿の準備としてグループワークが数回あります。上の写真は前任校でのゼミによるフィールドワークの際の写真です。
- ・年度の最後に、自分の関心に基づくゼミ論を提出してもらいます。

### ③選考方法

- ・ゼミの選考会情報を参照してください。

\*新型コロナ・ウィルスの影響を考慮し、説明会は中止とします。その上で、ゼミ希望者については、以下の要領でゼミ希望理由を書いて田嶋のアドレスまで送って下さい。

ゼミ希望票は事務課指定のウェブ申請で提出してください。演習2については、希望理由と2年次にどう過ごしたのかをA4x1枚にまとめ添付ファイルにて送付してください。以下は2020年度のゼミ活動についてです。

### 1. 2020年度のゼミ活動

田嶋ゼミでは毎年基本的に地域調査を実施することを課題としています。対象地域については年度ごとに異なりますが、今年度は実施が難しい可能性もあります。その場合にはこれまで先輩たちが実施してきた調査報告書やゼミ論文を中心に学び、各自のテーマでゼミ論文への取り組みを進めます。

また、調査地（豊島区池袋地区ですが、変更可能性あり）の地域代表の方を大学にお招きして、インタビューを実施するという事も予定しています（これも変更の可能性あり）。

### 2. 1年間は大きく4期に分けて運営します。

第一期（4月から6月）主には地域に関連する文献の収集と講読・同時に質的調査法について学ぶ。

第二期（7月から9月）地域代表者の方あるいはNGO関係の方をお呼びし、インタビューを実施する。前は新宿区大久保特別地域センターに勤務する先輩に来てもらいました。

第三期（10月から12月）既存の統計データやインタビュー結果にもとづき、分析作業と論文化を進める

第四期（1月から2月）ゼミ論文をまとめる。

この2年間は大学からの補助+自費（500円程度）にてゼミ論文集を作成しています。各自1冊+お世話になった方に配布予定です。2年生の場合、共同論文という形での提出も認めています。以上のとおりですが、今年は新型コロナ・ウィルスの関係で思うような調査が実施できない可能性もあります。そのため、それに代替する活動を考えています。

### 3. ゼミ選考は書類審査とします。

1) 田嶋ゼミ希望理由（A4 x 1枚程度）を書いて直接田嶋のメール・アドレスまで送って下さい。（提出先：jtajima@hosei.ac.jp）

2) 演習1希望票は事務課指定でウェブにて提出してください。

（演習2希望者についても、演習1で提出する希望票と同じ形式でウェブ提出してください。ただし、備考欄に演習2希望と書いて下さい）

また、質問があればゼミ生や田嶋がメールにて回答します。 問い合わせメール・アドレス [tajimaseminar2020@gmail.com](mailto:tajimaseminar2020@gmail.com) または上記田嶋のメール・アドレスまで！

以上です。

## 多田ゼミ 説明会資料

国際経営論：国際社会における多国籍企業の経営戦略と組織

### 【目次】

1. 演習1, 演習2, 演習3の学習内容
2. ゼミの方針
3. ゼミの注意事項

2020年3月30日

社会政策科学科 多田和美  
(kazumi.tada@hosei.ac.jp)

※ゼミに関する質問や相談を随時受け付けます。

## 演習1：基本文献の輪読とケース・スタディ

### ①国際経営論の基本・主要トピックに関する**代表的な文献**を輪読

→地味/地道だけど、必要な学習だと考えています。

### ②上記で学んだ理論的な知識をもとに、日本企業/外資系企業の**ケース・スタディ**にチャレンジ

→調査方法や研究方法もしっかり学びます。

★ここで学んだ成果は**社会学部研究発表会**で報告します。

## 演習2の学習内容：IBインカレ出場

### ①IBインカレに向けた**理論研究**と**実証研究**

→厳密な研究の方法論にもとづき研究を進めていきます。**根気の必要な、結構厳しい**取り組みになると思います。

### ②これまでの学習成果を**IBインカレ**で発表

→IBインカレの詳細：<http://ibintercollege.org/>

→授業時間外や長期休暇中のサブゼミも必要なボリュームの大きい取り組みになると思います。

★IBインカレへの出場を通して、グローバルなフィールドで徹底的に考え抜き、実践し、そして再び考え、やり遂げる力=「**知的タフネス**」を磨きます。

## 演習3の学習内容：卒論の執筆

### ①卒業論文の執筆がメイン

→これまでのゼミでの**学習成果の集大成**として、卒業論文を執筆します。

→**質の高い研究と卒業論文の完成**を目指します。

→やはり根気の必要な大変な作業ですが、一緒にがんばりましょう。

※個々の状況に応じて、IBインカレへも挑戦します。

## ゼミに関する方針

1. **ゼミ生が主役**：ゼミ生の皆さんで主体的にゼミを運営していただきます。受け身の姿勢ではゼミでの学習は進みません。自らどんどんアクションを起こしてください。
2. 個人的には、**明るく和やかな**雰囲気のあるゼミになれば、と考えています。
3. **ルールやマナーを重視**：無断欠席や遅刻は厳禁です。
4. ゼミへの**積極的な取り組み**：部活動、サークル、アルバイトも頑張してほしいけれど、ゼミ活動にもしっかり取り組んでほしいと考えています。ゼミに積極的に取り組む方を歓迎します。

## ゼミに関する注意事項

1. 水曜日4, 5時限目に2~4年生全員でゼミを実施します。  
→原則として**水曜日4限目以降はゼミのために空けておくようにしてください。**(教職課程科目の履修など、やむを得ない理由がある場合は相談してください。)
2. 2年生と3年生の**IBインカレへの出席は原則必須**です。  
→IBインカレは都内あるいは地方都市で開催されます。出席にかかわる費用は最小限に抑えるように皆で努めますが、地方開催の場合の日程は1泊2日に及ぶこともあります。相応の費用がかかる見込みです(もちろん、相談に応じます)。

テーマ

## 人口減少社会における都市自治体の政策と市民自治

### 《ゼミの内容》

ゼミの主テーマは、「人口減少期の都市自治体の政策課題を対象に、マルチステークホルダー・パートナーシップを通じた課題解決の可能性を、市民自治の理念から探求していくこと」です。

このゼミでは、主に東京圏の都市自治体における人口減少期の公共的な政策課題に着眼し、それらの課題解決に関わる企業・NPO・地域団体などの多様な主体と自治体との関係や、提供されている資源の現状を分析します。さらに民主的統制の側面からの検討も加えつつ、21世紀における都市自治体のマルチステークホルダー・パートナーシップによる政策展開の可能性を実践的に検討していきます。

### 《ゼミの進め方》

春学期前半は、指定の文献について担当を決め、受講生が順次内容をレポートする形式で進めます。レポートを踏まえ全体での討議を行いながら、自治体における政策課題の基本的な事項について、各自の理解を深めます。後半は、都市自治体における具体的な課題や実践事例を用いたグループディスカッションやワークショップを行いながら、チームによる政策の立案・実施に必要な、説明力・討議力・思考力などを身につけていきます。

秋学期は、各々の卒論テーマに関連する自治体の政策課題について受講生による報告（問題提起）とそれに対するグループ討議・発表を行っていきます。それらを通じて、プレゼンテーションスキルを身につけるとともに、多角的・多層的な情報や知識を得ながら課題を分析し、政策を構想する力を養っていきます。演習1の秋学期終了時に、各自の卒論テーマ決定について相談します。

また、夏休み期間中を中心に、東京圏にある自治体やNPOを訪問して現地調査を行い、自治体職員や公共を担う人々から自治体政策の実際を学ぶ機会を設けます。

### 《ゼミへの招待》

※募集人員：15名程度

今年度からスタートするゼミで、運営は、受講生によるマルチステークホルダー・パートナーシップを通じた課題解決を実践していく予定です。テーマへの関心に加えて、複雑な課題に対してあきらめないで向き合う思考力を鍛えたい、異なる価値観の人々と交わりながらチームでの課題解決に取り組んでみたい、など、ゼミの学びを通じた自身の内面的な成長に意欲を持つ学生を歓迎します。

— 選考は、志望理由と課題（レポート）の内容、面接（※中止の場合あり）により行います。 —

◆面接日時：4月3日（金）午前11時～（1人あたり10分以内） ◆場所：714教室

☆各自の面接時間は、希望登録票に記載されたメールアドレスあてに個別連絡します（4/2午前）

☆希望登録票に「関心のある自治体政策」「現時点で考えている卒論のテーマ」を記入してください

### 選考用課題（レポート）の提出について（必須）

志望者は希望登録票の提出後、**4月2日（木）午後5時まで**に、以下のテーマに沿ったレポートをメールで谷本(ytanimoto@hosei.ac.jp)あて、**必ず提出**してください（A4サイズで1枚）。

★自治体が、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的に、20代の人々から外出自粛への協力を得るため、あなたが効果的だと考える方策を600字～800字程度でまとめる。レポート作成の際には、厚生労働省や東京都のウェブサイトなど公的機関から収集した関連情報を参考にすること。

## 2020年度 津田研究会の活動概要

### ・学術的なメディア理解の促進

社会学や政治学の観点から、メディアの役割についての理解を深める。

### ・グループ研究の実施

班に分かれてそれぞれの研究テーマを探求する。インタビュー調査なども行う。

### ・報告書／卒業論文等の作成

## 具体的な活動 その1

### ・基礎文献の輪読

『メディアは社会を変えるのか』(拙著)に加えて、調査技法に関する基本文献。

### ・調査実習

インタビュー等の調査技法に関する実習

### ・PC関連実習

メールの書き方、ソフトウェア、一眼レフカメラの使用法についての実習

## 具体的な活動 その2

### ・文章実習

学術的な文章を書くための実習。

### ・グループ研究

グループごとにテーマを設定し、それぞれに調査を実施し、報告書を完成させる。

### ・合宿

合宿先でインタビュー調査を行い、ポスターを作成する。

## グループ研究

### ・演習1

テーマごとにグループに分かれて実施するか、共通テーマを設定し、そのなかでサブグループに分かれて研究を実施。

#### 2018年度研究テーマ

日米報道比較、メディア公共圏、スポーツ報道、テレビドラマにおける働く女性、コンテンツリズム

#### 2019年度共通テーマ メディアとジェンダー

LGBTドラマの制作、広告における女性／男性の描かれ方の変遷、同性愛を扱ったドラマ研究、女性運動とメディア、腐女子研究、職業のメディア表象

## グループ研究

### ・演習2

共通テーマを設定し、そのなかでサブグループに分かれて研究を実施。

#### 2018年度共通テーマ メディアと東京

新宿班、渋谷班、下北沢班、池袋班、吉祥寺班

#### 2019年度共通テーマ 平成メディア事件簿

座間9遺体事件班、薬物報道班、プリウス流言班、秋葉原通り魔殺人班、相模原障害者施設殺傷事件班

## 夏合宿紹介

### ・インタビューとポスター作成

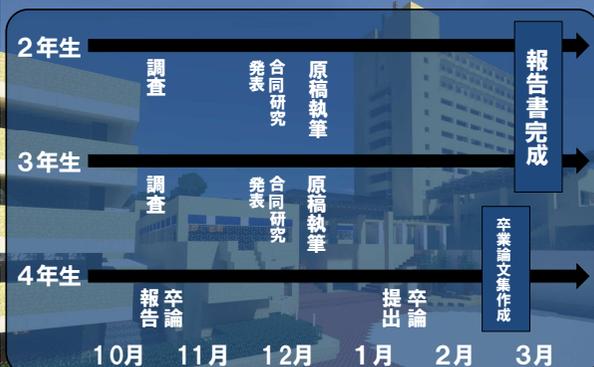
班ごとに分かれて地元の方々インタビューを行い、それをもとにポスターを作成。これまで宮城、群馬、山形、岐阜で実施。



## 年間スケジュール 1



## 年間スケジュール 2



## 2020年度募集要項

### ・面接が実施できる場合

4月3日(金)12時までにゼミ掲示板に面接のグループを掲示します。割り振られた時間になったら、下記のエッセイを持参して、717教室に来ること。

### ・面接が実施できない場合

4月3日(金)の17時までに [tsuda@hosei.ac.jp](mailto:tsuda@hosei.ac.jp) に添付ファイルにて送付すること。

### エッセイ:

テーマは「現代社会におけるメディアの役割」について。ただし、個人的な体験談に基づくものでも良いですし、笑いを取りに行っても構いません。文字数は2000字以内を厳守のこと。コピペは厳禁。

## 演習名 ( 土 倉 )ゼミ

### 1. 課題について

課題( あり ・ なし )

詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

- ・ 概要: 3/31(火)13 時頃までに、土倉研究室のブログ(以下、ブログ)に、Google フォームのリンクを貼る。課題はこのフォームを通じて提出すること。
- ・ パスワード: 7634
- ・ 提出期限: 4/1(水)15 時(厳守)
- ・ ブログのリンク: <https://tsuchilab.hatenablog.com/> (リンクから演習 1 選考ページに進むこと)

### 2. 選考の日時・方法・手続き

- ・ 日時: 4/2(木)9:00~20:00 の間(終日予定を空けておくこと)
- ・ 方法: オンラインで面接を実施する
- ・ 手続き: 課題提出者に、開始時間をブログで周知する。4/1(水)夜を予定。

### 3. 問い合わせ先

ブログの問い合わせフォームから問い合わせること。パスワードは 7634

### 4. 備考

- ・ 演習 1 の説明資料を 3/31 の 13 時までにブログにアップする。演習を希望する場合は、資料の内容をあらかじめ理解しておくこと。パスワードは 7634 である。
- ・ 選考に関する連絡は適宜、ブログで行なう。希望する場合は、定期的に確認すること。
- ・ 補足的にオンラインで説明会を開催することを計画している(3/31 の 13 時を予定)。詳細はブログを参照すること。なお、説明会への参加は自由であり、参加しないことで不利益になることはない。

# 徳安ゼミ説明会



2020年4月1日

## ゼミのテーマ：社会システムと人間から考える

さまざまな社会現象を，社会システム（社会の制度や仕組み）とその中で生きる人間という二つの観点から考察します。

### ゼミの目標

社会学的なテーマや問題を設定し，そのテーマや問題に適した研究方法を選択し，関連する文献のレビューおよび資料・データの収集・分析を行い，一定の結論を導く論証ができる。その研究成果を，プレゼンテーションあるいは論文執筆によって，適切かつ効果的に他者に伝えることができる。（とくにグループ研究における）研究過程での議論や，他者の研究報告に対する質問や討議ができる。

### ゼミの方法

演習1と演習2を合同で行う。前期は，少人数のグループ研究によって，あるテーマや問題についての社会学的研究の方法（テーマや問題の設定，文献レビュー，資料・データの収集・分析，論証等の方法）を身につける。後期は，個人研究を行う。各個人が自分のテーマについて研究を行い，その成果・途中経過を報告し，最終的に年度末にゼミ論を作成する。

### 問い合わせ先

[atokuyas@hosei.ac.jp](mailto:atokuyas@hosei.ac.jp)（必ず氏名、学科、クラス、学生証番号を明記して連絡すること）

### 2019年度の卒論テーマから

先輩はこのゼミでこんな卒論を書いた

スクールカーストに関する一考察、待機児童とベビーシッター、現代社会における生と死の意味づけを行うコミュニティ的關係、家族に残された役割、現代社会が直面する依存症問題、共生社会の成立条件とは何か、五感で捉える街の姿、高齢ドライバー問題をいかに解決していくか、化粧の流行とその背景から見える規則、サブカルチャーに表象される社会問題、国民的コンテンツの形成過程とその影響について、世界に広がる日本のアニメ文化

### ゼミの選考

日時：4月3日（金）13時00分～

場所：718教室

方法：教員とゼミ生による面接（時間は応募人数次第だが10～15分を予定）

＊研究したいテーマをA4用紙1枚に書いて持参すること

募集人数：10～13名

方針：こだわりのテーマを持つ人を取りたい  
なるべく多様な人を取りたい。

【状況の変化に伴い，ゼミ選考方式が課題提出のみに変更になった場合には，**4月3日中に研究したいテーマのファイル**を左記の問い合わせ先アドレスに添付ファイルで送ること】

## 2020年度 土橋ゼミ（演習1）募集のお知らせ

2020年度演習1の募集のお知らせです。選考は、「事前課題」＋「選考会（面接）」で行います。が、今後、コロナウィルスの影響で面接実施が不可能になる可能性もあります。その場合は、対応について、メールか、急ぎの場合は電話で連絡しますので、「希望登録票」にメールアドレスと携帯の番号を記入するのを忘れないで下さい。

### ■ゼミ紹介サイトについて

教室でのゼミ説明会が中止となりましたので、ゼミの活動内容などについてまとめたゼミ紹介サイトを作成しておきました。以下の URL か QR コードからアクセスして、内容を確認しておいて下さい。配布済みのゼミパンフレットにも再度目を通しておくと良いと思います。

<https://www.dbsh2020.com/>



### ■事前課題について

#### 課題内容

あなたが「面白い」と思う、デジタルメディア関連の企画、作品、表現（アプリ、ウェブメディア、ウェブサービス、広告、メディアアートなど、何でも構いません）を3つ挙げて下さい。その上で、その3つの中から特に好きなものを1つ選び、「なぜ自分はそれを面白いと思うのか」を自由に語って下さい。

#### 書式

- ・書式自由（A4一枚の範囲で自由に表現して下さい。図、イラストなどを組み込んでも構いません）
- ・紹介する企画、作品、表現については、その名称と、URLがあるものはURLも書いておいて下さい。
- ・一行目に氏名と学生証番号を忘れずに書いておいて下さい（表紙不要です）。

#### 提出方法

面接の当日、会場で直接提出してください。

### ■選考会（面接）について

#### 面接の形式・日程・会場

教員のみによる15分程度の面接になります（人の集まりを避けるために現役ゼミ生は一切入れず、距離を取り、換気に気をつけて行います）。実施日と場所は以下の通りです。

**実施日：4月2日（木） 場所：721教室**

#### 面接の開始時刻について

一人ひとりの面接開始時刻は、こちらで決定し、4月1日（水）の22時までにメールで連絡をします。必ずメールをチェックし、確認できたらその旨返信して下さい。何時開始になるか分からないので、できるだけ終日予定をあげておいて下さい。どうしてもダメな時間帯がある人は、「希望登録票」の提出後すぐに、ダメな時間帯を連絡して下さい。連絡先は、この書類の最後に記載したメールアドレスです。

#### その他

これまでに何か「コンピュータを使ったものづくり」をしたことがあり、それを見せたいという方は、面接への作品の持ち込み可とします（自分のパソコンやスマホ、あるいは印刷物などで見せて下さい）。ジャンルは何でも構いません。また、特にないという方は、何もなくても、もちろん問題ありません。

#### 連絡先

面接、事前課題、その他、質問がある方は、以下のアドレスに遠慮なく連絡下さい。ゼミ説明会が中止となり、色々不安もあると思うので、本当に遠慮なくどうぞ。込み入った話であれば、電話での対応も可能です（ここに番号は書きませんがメールをくれれば必要に応じてお知らせします）

**面接・その他に関する連絡先：dobashi@hosei.ac.jp**

# 演習名 ( 中 筋 )ゼミ

## 1. 課題について

課題( ○あり ・ なし )

### 詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

演習 1、演習 2 ともに、「希望登録票」の「上記演習を希望する理由」欄に「私の将来の夢」を、「備考」欄に「私の一番好きな国(日本含む)とその理由」を書いて(枠内に収まれば字数自由)、他の欄もできるだけ記入して、ウェブ提出すること。

以上の記述に基づいて教員が選考し、4月3日(金)11時にゼミ掲示板に受け入れ者の学生証番号を掲示する(ウェブ等、別方法による発表の可能性あり)。

なお、2次募集も同様のウェブ提出の書類選考のみで行う予定。

登校できない人は、下記連絡先にメールしてください。

## 2. 選考日時・場所・方法

※演習2・3の新規募集を行うゼミは、演習2・3の選考情報もご記入ください。

日時: 4月 3日 ( 金 ) 11:00 (演習 1、演習 2 とも)

場所: ゼミ掲示板(面接での選考会は行わない)

方法: 受け入れ者の学生証番号を掲示

## 3. 問い合わせ先

中筋メール: [nakasuji@hosei.ac.jp](mailto:nakasuji@hosei.ac.jp)

## 4. 備考

演習 1、2 とも、内容についてはゼミパンフとシラバスを参照してください。

詳細は授業が始まってから相談して決めていきます。

## 2020年度演習1参加者募集にあたり 【長沼ゼミ説明資料】

兼任講師・特定社会保険労務士 曾布川哲也

### 2年生の皆様へ

こんにちは、兼任講師の曾布川です。演習1長沼ゼミに入られたら、2020年度だけは私曾布川と一緒に学んでまいります。皆さんの中には、1年だけの担当なので、不安をお感じの方もいらっしゃるかもしれませんが、3年次以降は長沼教授にきっちり引き継がれますし、私も卒業までは何らかの形でお力添えをさせてもらうつもりでおりますので、その点でのご心配は無用です。以下をご覧になって興味関心が持てましたら、どうぞご応募ください。お待ちしております。

### 2年生の間に何を学ぶか

春学期は、増田・三輪・根岸編『変わる福祉社会の論点第2版』を会読することを通じて、

- ①社会保障にどのような論点があるのか
- ②論文の読み方、報告・発表の方法
- ③論点の探し方

などを学んでいきます。

秋学期は、社会保険（医療保険と年金保険）に関するちょっと難しめの論文を読みます。判例や資料なども参照しながら、論文や記事等の記述の裏側にある現実社会の考察を通じて、自ら課題を見つけて解決方法を探る力をつけていきましょう。

### 演習授業の進め方

参加者には順番に報告担当が回ってきます。参加人数によっては、報告担当を二人にすることや、報告に対するコメンテーター担当を設置することもあります。担当者になったら、まとめたレジュメを作成し参加者全員に配布の上、その内容を決められた時間内に報告してもらいます。それをもとに全員で討議を行うことを基本とします。

担当者以外の方も、その日に取り上げるものを読んだり調べたりして参加することが求められます。

### レポート作成・提出

ゼミでの報告等とは別にレポート作成を春秋1回ずつ提出してもらいます。

### その他

次の点をご承知おきください。

- ①水曜日の3時限目に開講する演習2（長沼ゼミ3年生）との合同ゼミや、各学年のゼミ生全員参加の4年生卒論報告会・OBOGとの交流イベントなどを開催することがあること。
- ②学部研究発表会準備その他のためにサブゼミを行う必要が生じる場合があること。
- ③ゼミは参加メンバーの協同によって成り立っていることを認識して、一人ひとりが責任ある行動をとること。

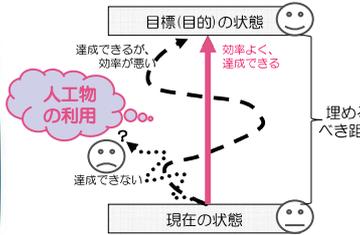
以上

## メディア社会学科 設計コース「演習1」

### 橋爪ゼミ説明

hashiaya@hosei.ac.jp

### 目標達成と人工物



### 教員紹介②

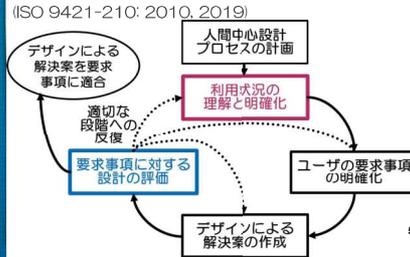
- ◎法政大学の社会学部に着任したのは、2019年4月からです
- ◎2018年度まで、理工系の学部におりました
- ◎首都大学東京システムデザイン学部 (2020年度から、名称が都立大学に戻りましたが…)
- ◎高齢者の見守りシステムや、ストレス状態を計測するアプリなどを研究開発する指導をしていました



### 橋爪ゼミのテーマ①

- ◎私たちの生活には、**人工物** (システム、製品、サービス、アプリなど) が溢れています
- ◎特に、情報メディアに関連する人工物は、爆発的に拡大し、日常生活に深く浸透しています
- ◎そうした人工物について、改めて**私たちがどう利用するのか**、デザインやその活動の在り方を問い直すことで、**メディアと人間との関係を考える**のが、橋爪ゼミです

### ユーザ中心設計 / 人間中心設計



### 教員紹介③

- ◎そのほかに、こんな調査もやっていました
- ◎デジタルネイティブの生活調査 (トヨタ)
- ◎地理的要因による受困難者の学習環境の調査 (放送大学)
- ◎情報行動のエスノグラフィ調査 (KDDI)
- ◎東日本大震災の被災地における情報受信に関する調査 (KDDI、浪江町、釜石市、双葉町、大熊町)
- ◎「かわいい」の男女差・文化差 (デポー大学)

### 橋爪ゼミのテーマ②

- ◎生活のなかで人工物を利用して、何か目標を達成しようとした際に、色々なことが起きます (問題含む)
- ◎人工物を**ユーザ** (使う人) に対して最適化しようとする**ユーザ中心設計**や**人間中心設計**の考え方で、研究をしていきます
- ◎また、人工物のユーザの状況や考え方を把握するための調査・分析から、**実際の利用文脈**でユーザが抱えている問題点やその解決策を考えていきます

### 教員紹介①

- ◎橋爪 絢子 (はしづめあやこ)
- ◎大学時代は、認知心理学を専攻していました
- ◎心理学を日常生活に生かしたいと考えていました
- ◎ICT機器のヒューマンインタフェースの問題 (特にユーザビリティの問題) に関心を持つようになりました
- ◎ICT機器のユーザビリティが悪いと、困る人たちは誰だろう? と考えて、主に高齢者ユーザを対象に調査を行っていました

### 来てほしい学生①

- ◎自ら能動的に動ける人
- ◎教員はアドバイスはしますが、自ら主体的に動かない限り、全く何も進みません
- ◎指示を待っていても、降ってきません
- ◎分からないことを放置せず、調べるなり聞き取りする必要があります
- ◎与えられた機会のほかにも、外部の活動も積極的に活用してください

### 来てほしい学生②

- ◎集団での学びを楽しめる人
- ◎研究は、個人でやることもありますが、仲間との議論のなかから、何かが得られることや、発展していくことはよくあります
- ◎知識の共有を惜しまず、気がついたことがあれば、お互いに意見を申し合っ、協力しながら進めていく姿勢が必要です

### 来てほしい学生③

- ◎ハウレンソウ (報連相) ができる人
- ◎報告、連絡、相談はとても大切です
- ◎事前に、連絡や相談をしてください (何も連絡がないまま休まれたり、特に相談がないまま突然何かを決定をされたりすると、どうしたのか心配になります)
- ◎その後、きちんと報告もしてください (相談された後に報告がないと、結局どうしたのか心配になります)

### 来てほしい学生④

- ◎①～③を踏まえて、ゼミと一緒に作っていったりできる人
- ◎2020年度が2年目なので、まだ決まっていないことが多いです (そもそも、ゼミはみなさんと相談をしながら、一緒に作っていくものだと思います)
- ◎提案をしてくれれば (面白いと思えば) 採用される可能性が高いです

### スケジュール①

- ◎みなさんと一緒に決めていきます
- ◎春学期には文献の輪読を、秋学期には調査計画を立てて、実施・分析をしようと思っ
- ◎内容・スケジュールは、みなさんと相談しながら、決めていきます (提案によっては、大幅に変更することもあります)

### スケジュール②

- ◎2019年度の演習1はこんな感じでした
- ◎春学期
  - ◎企業訪問 (Yahoo)
  - ◎英語の文献の輪読
- ◎ゼミ合宿 (8月): 筑波山
- ◎秋学期
  - ◎論文の要約と輪読
  - ◎統計の勉強



### 選考方法①

- ◎希望登録票および課題の内容によります
- ◎必要に応じて、メールでの質問にご回答いただき、総合的に判断しますので、メールも随時ご確認ください
- ◎希望登録票の提出: 4/1 (水) 15時
- ◎希望する理由: どういうことを考えて希望するに至ったのか、その経緯が分かるように説明してください
- ◎備考欄: ゼミでどんなことをやりたいのか、理由も含めて、計画を記述してください

### 選考方法②

- ◎課題
- ◎あなたが生活のなかで利用したモノやサービスについて、以下の2つの事例を挙げ、その理由を状況等も分かるように説明してください
- (1) 満足をした経験のあるモノやこと
- (2) 不満に感じたモノやこと
- ◎提出期限: 4/3 (金) 15時
- ◎提出方法: wordファイルをメール添付
- ◎提出先: [hashiaya@hosei.ac.jp](mailto:hashiaya@hosei.ac.jp)

### 演習2・3の新規募集

- ◎演習2:
  - ◎新規募集をしますが、若干名です
  - ◎事前にメールでご相談いただいたうえで、希望登録票をご提出ください
  - ◎メールアドレスは下記のとおりです
  - ◎[hashiaya@hosei.ac.jp](mailto:hashiaya@hosei.ac.jp)
- ◎演習3:
  - ◎新規募集はしません

- ◎迷っている、もしくは質問がある人は、事前にメールでご相談ください
- ◎[hashiaya@hosei.ac.jp](mailto:hashiaya@hosei.ac.jp)

# 演習名 ( 濱中 春 )ゼミ (演習1と2を募集)

## 1. ゼミの説明

ゼミのテーマや内容については、ゼミ紹介パンフレットを参照してください。

## 2. 選考方法

下の課題にもとづいて選考します。

## 3. 課題の詳細(内容及び提出期限・提出方法等)

下記の①②③について、合わせて 1500 字程度のレポートを提出してください。

### ・演習 1 希望者

- ①風景や場所と、表象文化について、それぞれどのような関心があるか。
- ②ゼミで何がしたいか。
- ③小説、映画、ドラマ、アニメ、マンガ、絵画、広告・CM、歌・音楽、演劇、観光メディアなどの作品を具体的に1つとりあげて、その中でどのような風景や場所が表現されているかを説明してください。

### ・演習 2 希望者

- ①風景や場所と、表象文化について、それぞれどのような関心があるか。
- ② 個人研究では何について研究したいか。
- ③ 連絡先となるメールアドレスと電話番号

提出期限:4月2日(木)10:00

提出方法:下の「4. 課題の提出および問い合わせ先」のアドレス宛てにメールの添付ファイルで提出  
(添付ファイルが使えない場合は、メール本文でも可)

## 4. 課題の提出および問い合わせ先

hamanaka@mt.tama.hosei.ac.jp

## 5. 備考

選考結果は4月5日までにメールでお伝えしますので、希望登録票(演習2希望者はレポート)に自分のメールアドレスを正確に書き、濱中からのメールをチェックしてください。

# 樋口ゼミ説明会 2020

樋口明彦  
(法政大学社会学部)

## 1. ゼミの研究テーマ

地域コミュニティの活性化

→コミュニティはどのような課題に直面しているのか、その課題を乗り越えるためには、どのような仕組みづくりが必要なのかを考える。

キーワード

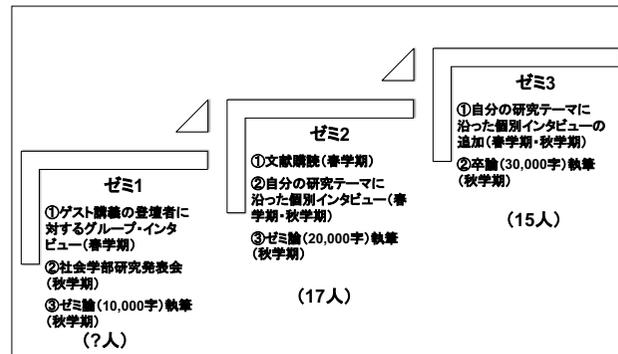
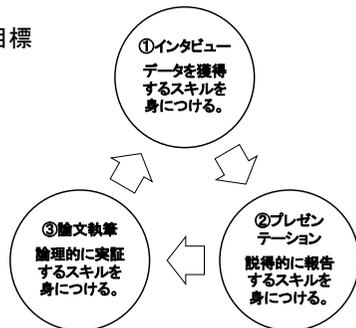
→まちづくり、コミュニティ・ビジネス、社会的企業、NPO、地域の社会関係、孤立死、観光、町内会・自治会、コミュニティ・カフェ、団地など

## 2. 過去の卒論テーマ

下記のURLを参照のこと

<https://sites.google.com/site/akihikohiguchi1971/tong-kouzemi/mokuroku>

## 3. ゼミの目標



## 4. 年間スケジュール(予定)

4月	新歓
6月	グループ・インタビュー
9月上旬	夏合宿
10月	ゼミ論構想発表
11月末	社会学部研究発表会
12月末	ゼミ論提出
1月上旬	ゼミ論への個人面談

5. ゼミの募集方法(ただし、状況に応じて変更の可能性あり。変更の場合は、追って指示する)

募集人数

→約15名

選考会日程

→4/2(木)12:30から面接をする予定。当日の詳しいスケジュールは、4/2(木)12:00にゼミ掲示板(社会学部棟2階)にて告知する。選考結果は、4/2(木)夕方、ゼミ掲示板にて告知する。

課題

→以下の点について、A4書類、1枚で記述すること。その書類を、4/1(水)24:00までに、樋口のメール(looking4ujp@gmail.com)宛てに送付すること。

①ゼミで研究したいテーマ(できるだけ具体的に！)

②そのテーマを、誰に、どのような質問をして調べるか、そのアイデア(できるだけ具体的に！)

選考方法

→教員による1対1の面接を行う。希望者の関心とゼミ研究とのマッチングを確認することが目的。

2次募集および3次募集について

→1次募集にて定員に達しない場合、定員に達するまで募集を順次継続する。2次募集を行う際は、ゼミ掲示板にて告知する。

問い合わせ先(質問があれば、メールにて)

樋口明彦

looking4ujp@gmail.com



## 2020年度藤代ゼミ 選考に関して

藤代裕之

演習1・2・3で、ゼミ生を募集します。ゼミの内容は「演習（ゼミ）紹介パンフレット」を確認してください。また、ウェブでの説明会を行いますので、希望者はできるだけ参加してください。

### 【共通課題】

- ・テーマ：「私のイチオシ表現」。記事、ドキュメンタリー、広告、書籍、展示、舞台など、自分が面白い・ワクワクしたイチオシ表現を教えてください。
- ・形式：問いません。制作物などを持参しても構いません。プロジェクターも用意してあります。  
「なぜ、その表現がイチオシ」なのか、自由な方法で、1) その表現の概要、2) なぜイチオシなのかの理由、を伝えてください。制限時間は3分です。その後質疑を行います。

### 【ウェブ説明会】

- ・3月31日 ①11時から12時ごろまで、②15時から16時ごろまで
- ・説明会への参加方法はゼミツイッター @fujisirolab を確認のこと。

### 【演習1の面接について】

- ・日時：4月2日（木曜）10時～
- ・面接場所や時間は希望登録票の提出者にメールで連絡します。ウェブ面接の可能性もあります。

### 【演習2・3の希望者】

- ・3月31日までに下記メールアドレスに連絡してください。

fujisiro (アットマーク) hosei.ac.jp

## 藤田・演習 I 募集方法

### ■入ゼミレポート

[課題 1] 八王子市の良さを伝える放送番組（または映像素材）を企画してください（ジャンルは問いません）。

[書いてほしい項目]

- ① 番組タイトル
- ② 番組・映像を上映・配信する形態（放送・上映場所、サイトなど）
- ③ 企画意図＝番組・映像素材の狙いを簡潔に説明する。
- ④ 企画詳細＝番組・映像素材の進行をできるだけ具体的に書く。
- ⑤ 企画背景＝企画の背景となった社会事象・データを書く。

[分量] A4 2枚程度（多少の増は可）

[課題 2] 面接試験に替わる課題です。以下の項目について、それぞれ 100 字程度で書いてください。

- ① 自己 P R
- ② ゼミに入ったら取り組みたいテーマ
- ③ 自分がゼミに貢献できること

[締め切り] 4月1日（水）18時までにメールで提出してください。藤田のアドレスは、[mfujita@hosei.ac.jp](mailto:mfujita@hosei.ac.jp) です。メールを送る際には、必ず件名欄に「入ゼミレポート（氏名・学生番号）」を書いてください。PCからのメールが受信できるアドレスから発信してください。メール受信後、確認の返信を藤田からします。1日たっても返信メールがない場合には、再度連絡してください。

### ■合格発表

4月3日（金）18時までに藤田真文の Twitter（藤田真文@maffumi）に学生番号を掲示します。最初のゼミは、4月22日（水）5限になります。2ゼミ、3ゼミとの顔合わせ会をします。

演習名 ( Jonathan Brown )ゼミ

## 1. 課題について

課題( あり ) ・ なし )

詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

Since my seminar will be conducted in English, my students will need to have a high level of English. It is also important to be able to read (in English) and discuss your opinions and ideas. Therefore, it is necessary for me to “interview” any interested students. Since we cannot meet in person, this will be done via Skype. Please pick up the reading from my office (1122) (or email me to request a copy) and then contact me by email at [brownj@hosei.ac.jp](mailto:brownj@hosei.ac.jp) to arrange a Skype meeting to discuss the reading. You must contact me by 5:00 PM, March 31 to arrange the meeting. Selection results will be sent via email by 11:59 PM, April 3.

## 2. 選考日時・場所・方法

※演習2・3の新規募集を行うゼミは、演習2・3の選考情報もご記入ください。

日時: 4月3日 (金) : ~ 23:59までに結果を発表

場所: 無し

方法: メール

## 3. 問い合わせ先

[brownj@hosei.ac.jp](mailto:brownj@hosei.ac.jp)

## 4. 備考

演習名 ( 別府三奈子 )ゼミ

## 1. 課題について

課題( ○あり ・ なし )

詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

1. 昨年12月のゼミ説明会に参加した学生さん用の課題:  
試聴していただいた3年生作製のドキュメンタリーについての気づいたこと・考えたことと、ゼミで取り組んでみたい自分の目標、の2点について、自由に論じてください。(800字)
2. 昨年12月のゼミ説明会には参加していない学生さん用の課題:  
この春休みに接したニュースやドキュメンタリーについて気づいたこと・考えたことと、ゼミで取り組んでみたい自分の目標、の2点について、自由に論じてください。(800字)
3. エントリーする全ての学生さん用の課題:自己紹介作文(400字)  
▶教員のメールアドレスに、上述1. または2. と、3について、独自にタイトルをつけ、ファイル名にご自分の名前を入れ、ワードで横書きで作成後、メールに添付して提出。  
▶提出期限:、2020年4月4日土曜日、正午までに送信完了の添付ファイルを受理します。  
▶提出するときの件名: ゼミ入室課題氏名 としてください。

2. 選考方法 : 提出された課題作文のみで選考します。演習2・演習3の追加募集の、課題・問い合わせや提出方法・選考方法・期日は、すべて演習1と同様です。

3. 問い合わせ先 : mbepu@hosei.ac.jp (演習1・2・3に関する学生さんからのメール問い合わせは、3月30日・正午から4月1日・正午までに送られていたお問合せメールに対応します。4月1日正午までに、お返事メールをお送りします。)

4. 備考: シラバスを熟読してください。新しい学外での調査については、コロナ騒動の様子と、履修学生さんたちの話あいによって内容を調整していく予定です。

# 堀川ゼミ募集要項

## ■ 募集の概要

演習 [1] (第 18 期生) 新規募集 [新 2 年生対象] 15 名程度

演習 [2] (第 17 期生) 補充募集 [新 3 年生対象] 若干名

## ■ 説明会にあたるもの

関心のある方は、堀川ゼミ公式サイトにアップロードされている「募集要項」(公式パンフ) および「非公式パンフ」(学生作成のもの) をご参照ください。

## ■ 課題レポート (演習 [1], [2] 共通)

入ゼミ課題を、4月2日 [木] 23:59 までに下記メールアドレス (担当教員のアドレス) までに提出してください：

- 「入ゼミ課題レポート」

- 各自の興味関心、テーマ、自己紹介などを記したもの  
(A4 判で 2 ~ 4 頁程度 ; Word 型式ファイルの添付で)

sab@hosei.ac.jp

## ■ 入ゼミ選考日程

4月3日 [金] 以降、電話によるインタビュー型式で選考します。レポートを受け取った後、こちらから応募学生にメールし、電話の時間などの打ち合わせをしてから、実施する予定です。

## ■ 募集要項

ゼミ公式サイトに「ゼミ募集要項 2020」および「非公式パンフ」をアップロードする予定です。ゼミの詳しい説明だけでなく、OB/OG や現役ゼミ生の生の声が収録されています。応募を考えている方は、必ず熟読してください (右下に QR コードもあります)。

<http://horikawa-seminar.ws.hosei.ac.jp/>

問い合わせ先： 堀川三郎 [sab@hosei.ac.jp]



演習名 ( 増田 )ゼミ

## 1. 課題について

課題( あり ・ なし )

### 詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

シラバスをよく読んでください。説明会はシラバスの内容と同じです。なお、海外でのゼミ合宿は、今年度は状況によっては行わずに、国内での合宿にする可能性もあります。

増田ゼミを希望する理由と自己アピールを、2000字程度で書き、以下のアドレスに送ること。

Email: [hoseimmasuda01@gmail.com](mailto:hoseimmasuda01@gmail.com)  
[kota.nakahata.3k@stu.hosei.ac.jp](mailto:kota.nakahata.3k@stu.hosei.ac.jp)

## 2. 選考日時・場所・方法

※演習2・3の新規募集を行うゼミは、演習2・3の選考情報もご記入ください。

日時: 4月4日(土) 13:00 ~ 16:00

場所: 617教室(面接会場)

617教室の前に控室として集合する教室番号を掲示するので、その教室に集合してください。

方法: 3年生が同席のもとでの増田による個人面接

面接ができない場合は、提出された課題で選考します。

## 3. 問い合わせ先

[hoseimmasuda01@gmail.com](mailto:hoseimmasuda01@gmail.com)

## 4. 備考

# 鞠子茂ゼミ 説明会資料(ゼミ紹介パンフと同じ)

<b>担当教員</b>	<b>鞠子 茂(MARIKO, Shigeru)</b>
<b>テーマ</b>	<b>多摩キャンパスの自然を活用した生態系サービスと理科教育に関する研究</b>
<b>ゼミの内容</b>	多摩キャンパスには東京ドーム 10 個分の里山(二次)林があります。私たちは里山の自然から多くの恩恵(生態系サービス)を享受してきました。このゼミでは、多摩キャンパスの豊かな自然を使って生態系サービスに関する様々なテーマを研究します。これまでの研究によって、多摩キャンパスの森林がわれわれに少なからぬ恩恵を与えていることが明らかとなっています。たとえば、森林の樹木や土壌にはたくさんの炭素が蓄えられており、その量は約 3 万 3 千人の人が 1 年間に排出する炭素量に匹敵します(供給サービス)。また、森林の気象緩和作用は、八王子市街地よりも冬は暖かく、夏は涼しい環境をもたらしています(調整サービス)。さらに、生物多様性の高い森林は伝統工芸でもある草木染の染料となるたくさんの植物を育てています(文化的サービス)。こうした生態系サービスを受け継いでいくために何かできることはないか、これがこのゼミにおける研究活動のモチベーションとなっています。さらに、研究成果を活用して、理科教育の題材づくりや小中学生の理科自由研究の補助活動を行っていきます。
<b>ゼミの進め方</b>	演習 1 の春学期は多摩キャンパスで自然環境や生物を観察し、フィールド研究や実験の手法を学ぶだけでなく、生態系サービスについて考えさせる授業を展開します。秋学期以降に、グループ研究を行います。このときから学生が主体的に授業に参加するシステムに移行します。研究の立案から発表までのプロセスをグループ単位で進めます。ただし、教員からは文献の検索や読み方については一通り教えます。演習 2・3 では、具体的な研究テーマを各自が設定し、実際に研究を進めます。演習 2 の年度末には卒業論文に準じるレポートを提出したのち、演習 3 でさらに研究を進めて卒業論文を完成させます。随時、進捗状況と結果を発表してもらいますが、このゼミはプレゼン技術の習得も重視しています。
<b>ゼミ生の卒論等のタイトル</b>	「多摩キャンパスの 4 号調整池における食物連鎖の解明」、「八重桜の茎葉を利用した草木染に関する研究」、「アロマセラピーが仕事効率に及ぼす影響」、「多摩キャンパス内の野鳥の季節的消長」、「成長期における香りの用途別嗜好の変化」、「遺伝子組み換え食品の是非に関する考察」、「新しい日本型エコツーリズムの創出について」、「法政大学多摩キャンパスの森林バイオマスの推定」、「多摩キャンパスにおける学生と森林の関係はどのようなものか」
<b>ゼミへの招待</b>	このゼミは文系理系で色分けするなら理系的な色が強いかもしれませんが。しかし、研究対象とする生態系サービスには文化的サービスがあり、文系的なテーマを設定することは十分可能です。それでも心配な学生諸君には、「あなたが他のゼミと私のゼミのどちらにするかで迷っているなら、他のゼミに行った方が良い。でも、自分は自然や生き物、そして生態系からの恩恵について興味があり、それを五感を通じて学びたいという気持ちがあるのなら、このゼミはあなたのためにある」と答えています。 知識やスキルをもたないことを不安に思う気持ちは理解できますが、必要なことはゼミで指導しますので、「生態系サービス」について学び、研究したいという気持ち、さらには理科教育に関心があるのなら、ぜひ来てください。そして、あなたがこのゼミで何か一つでも結果を出せたなら、その経験は社会に出てからもきっと役立つはずですよ。
<b>選考方法と募集人数</b>	とくに人数制限は設けませんが、人数が多い場合は面接による選考を行います。合格の条件は、生態系について強い関心があること、共に学び研究する協調性と意欲のあることです。フィールドワークは危険を伴いますので、協調性と意欲の有無はとりわけ重要な選考基準となります。

## 1. 課題について

課題( あり )

詳細 (内容及び提出期限・提出方法等)

ゼミHP上にある事前課題をメールにて提出の上、面接を行う。

課題は 4月2日(木)12時までに morozemi13th@gmail.com に送信。

詳細についてはゼミHPを参照してください。

<http://morozemi.ws.hosei.ac.jp/>

QRコード→



## 2. 選考日時・場所・方法

※演習2・3の新規募集を行うゼミは、演習2・3の選考情報もご記入ください。

日時: 4 月 3 日 ( 金 ) 時間は指定します

場所: 615教室 (控室616教室)

方法: 課題を基に面接を行う。詳細については、ゼミHPを参照して下さい。

ただし、コロナウィルスに対する各自治体・政府の対応によって、面接の実施が不可能となった場合は、ウェブ面接方式に切り替える可能性があります。そうした案内についてもゼミHP上で行うので、応募者は必ずこまめにアクセスするようにお願いします。

## 3. 問い合わせ先

[morozemi13th@gmail.com](mailto:morozemi13th@gmail.com)

## 4. 備考

ゼミ説明会の動画をゼミホームページにおいて期間限定で公開します。

ゼミのHPにアクセスして下さい→ <http://morozemi.ws.hosei.ac.jp/>



演習名 ( 吉村真子(代講 By 遠藤聡先生) )ゼミ

## ゼミのテーマ: アジア(東・東南・南アジア)の社会・政治・経済・文化の諸問題

- ◎ゼミの実施時間は、「演習1・2合同／木曜IV-V限」です。●注意してください。
- ◎2・3年合同で、班で報告などの準備をします。上級生とも仲良くなれます。
- ◎ゼミへの「主体的な参加(議論・報告・論文・合宿)」と「卒業論文の執筆」をする決意のある学生に限ります。
- ◎アジアに関心があり、熱意のある積極的な学生を募集します。
- ◎「アジアや国際問題をしっかり勉強したい」「大学4年間でゼミをやったと実感したい」「自分の研究テーマを見つけたい」という学生にお勧めです。
- ◎「ゼミ紹介パンフレット」をよく読んで応募してください。

### 1. 課題について →課題(あり)

#### ◎課題レポート:「吉村ゼミで研究したいアジアに関するテーマについて」

- ・「●●国の△△問題」など具体的なテーマで、どういった問題があるのか、何をどう議論するのか、など、自分なりに調べて、しっかり書いてみてください。1800～2500字程度
- ・「学科・学年・組・学籍番号・氏名」を右上に明記(A4、上下左右3cm余白、表紙不要)
- ◎提出締切:2020年4月1日(水)24:00(厳守)
- ◎提出先:<makoseminar@hotmail.co.jp>

### 2. 選考日時・場所・方法

日時: 4月2日(木)10:30～13:00 (※面接時間の詳細はメール連絡します)

場所: 520教室

方法: 教員との面接

※演習2・3の新規募集は行いません。

### 3. 課題レポート提出および問い合わせ先

<makoseminar@hotmail.co.jp>

### 4. 備考

※2020年度は代講の遠藤先生が指導します。ゼミ合宿などは吉村も参加します。